

FINDLAY HIGH SCHOOL STUDENT HANDBOOK



目次

ヘルプとサポート	4
一般情報と期待	6
積極的な行動介入と支援	6
学生規律と行動規範	8
FHS行動規範	9
課外活動のルールと参加資格	20
学術情報	21
集会	33
出席	32
化学健康政策	37
カウンセリングサービス	37
ダンス&プロム	38
ディレクトリ情報と学生記録	38
募金活動と販売	39
ホールパス	39
医療サービス	39
悪天候	39
図書館ガイドライン	40
ロッカー	40
ランチ/カフェテリアの利用	40
薬	41
駐車場、交通機関、校外学習	42
永久パス	46
個人財産	46
学校出版物	46
学校安全訓練	46

学校の安全	47
標識掲示ポリシー	47
サインインとサインアウト	47
学生写真とIDカード	48
自習室	48
テクノロジー	48
電話の使用/学生への連絡	51
労働許可証	51
差別禁止ポリシー	51

フィンドレー市教育委員会政策マニュアル

このハンドブックは、同じ主題について以前に提供されたすべてのハンドブックおよびその他の書面資料に代わるものです。ハンドブックは学生に対する取り消し不能な契約上の義務を意味するものではなく、現在の状況を反映するものである。

理事会の方針と学校の規則の状況。参照されている方針または管理ガイドラインのいずれかが

本規定が改訂された場合、最新のポリシーまたは管理ガイドラインの文言が優先されます。

理事会のポリシーと管理ガイドラインは、地区のウェブサイトでご覧いただけます。

ヘルプとサポート

FHSホットライン

ご自身、またはお知り合いに助けが必要な方はいらっしゃいますか？ホットラインは24時間365日ご利用いただけます。上記のリンクをクリックするか、フィンドレー高校ウェブサイトのカウンセリング & アカデミックページにあるこのアイコンを探してください。

988 ライフライン

精神的な問題、精神的苦痛、アルコールや薬物使用の懸念、あるいはただ誰かに話を聞いてほしい場合は、988 に電話してください。カウンセラーが対応いたします。あなたは一人ではありません。

安全を守りましょう。声を上げましょう！

フィンドレー市立学校は、生徒のいじめや校内暴力の抑制と、すべての生徒にとって前向きな学習環境の提供に全力で取り組んでいます。その一環として、いじめ、自殺、暴力、その他の安全上の脅威に関する懸念を記録し、対応するための「Stay Safe. Speak Up! 生徒安全報告システム」(PublicSchoolWORKS提供)を提供しています。

このシステムにより、生徒、保護者、教職員は、次の 3 つの方法で安全上の懸念を学校関係者に提出できます。

1. モバイルアプリ。Stay Safe. Speak Up! モバイルアプリをダウンロードし、FCS独自の地区コードを入力すると、スマートフォンから直接報告を送信できます。地区コード :FCS
2. 電話。1-866-547-8362 に電話して音声メッセージを残すか、訓練を受けたオペレーターと直接話してください。学生が個人的な緊急事態に対処するために助けを必要とする場合、担当者はさまざまな全国危機ホットラインに連絡することができます。
3. オンライン。ホームページ上の「Stay Safe. Speak Up!」ボタンをクリックして、オンラインフォームにアクセスしてください。

支援機関

2-1-1 にダイヤルしてください (リソースへのリンクに関するヘルプ)

ハンコック郡危機ホットライン

1-888-936-7116 ハンコック郡アルコール・薬物・精神保健委員会

ファミリーリソースセンター

419-422-8616 または 419-425-5050

青少年危機ホットライン (営業時間外) 1-888-936-7116

食べ物

シヨパンホール 419-422-6401

救世軍 419-422-8238

女性・乳児・児童 (WIC) 419-424-0720

ハンコック・クリスチャン・クリアリング・ハウス 419-422-2222

ホームレスシェルターと食料

シティミッション 419-423-9151

ヘルプライン - 地域のメンタルヘルスリソース 800-684-2324

住宅サービス

ホープハウス（シェルター）419-425-4673

ホープハウス（住宅事務所）419-427-2848

情報と紹介

成長を手伝ってください 419-423-8687

HC雇用・家族サービス 800-228-2732 および 419-422-0182

ハンコック郡公立図書館

419-422-1712

医療および処方箋

コマンヘルスセンター 419-427-0809

女性リソースセンター 419-424-9948 または 567-294-8730 (テキスト)

全国自殺予防ライフライン（24時間）800-273-TALK(8255)

全国家庭内暴力ホットライン

(24時間) 800-799-7233

サポートグループ

セラピー&救急サービス 419-425-5050

ユーティリティアシスタンス

関連慈善団体 419-423-2021

一般情報と期待

場所ごとの学校全体のルール

TROJAN COUNTRY EXPECTATIONS

9-12 LEADERS

BE RESPECTFUL

Classroom & All Settings	Arrival & Dismissal	Hallways	Restroom	Cafeteria	Technology	Bus	Athletic Venues
- Be on time. - Respect others' learning. - Use appropriate language & voice level. - Interact with others in a positive & calm manner.	- Be polite. - Keep hands, feet, & objects to yourself.	- Be mindful of the learning environment of others. - Keep hands, feet, & objects to yourself. - Use school-appropriate language.	- Keep hands & feet to yourself. - Give others privacy.	- Listen to all adults. - Be polite. - Use appropriate table manners.	- Follow adult directions. - Handle devices with care. - Communicate appropriately at all times.	- Listen to all adults. - Be polite. - Keep hands, feet, & objects to yourself.	- Display sportsmanship. - Respond appropriately to all opponents, coaches, & officials. - Positively encourage all participants.

BE RESPONSIBLE

- Be prepared. - Follow directions & procedures. - Be present & engaged.	- Arrive/dismiss on time. - Walk when entering & exiting. - Go directly to your appropriate location. - Park headfirst in student lots. - Eat breakfast in the cafeteria.	- Go directly to where you have permission to be. - Use e-hall pass. - Be efficient with locker use.	- Use bathroom as intended. - Flush, wash, & leave promptly. - Throw away trash. - Alert staff to issues.	- First things first: Eat > Talk - Keep track of belongings. - Clean up your table. - Seek permission to leave your seat.	- Use devices as permitted. - Use devices as intended for instructional purposes. - Keep track of devices.	- Be ready when bus arrives. - Board promptly. - Go directly to seat. - Exit promptly.	- Proudly represent FHS. - Be a role model for future Trojans. - Keep locker rooms & facilities clean.
--	---	--	---	--	--	--	--

BE SAFE

- Notify adults of unsafe conditions. - Use school property as intended.	- Cross at crosswalks. - Follow traffic procedures. - Use walkways appropriately. - Be aware of surroundings. - Keep coats & backpacks in locker during day.	- Stay to the right. - Walk at all times. - Respect personal space.	- Walk calmly. - Keep the floor dry.	- Always walk. - Eat only your food. - Use utensils as intended. - Stay in your seat until dismissed. - Report spills to staff.	- Report inappropriate and unsafe behavior to an appropriate adult. - Use school appropriate sites and apps. - Keep your password private.	- Keep food & drink in your bookbag & belongings in your seat. - Keep aisle clear. - Remain seated. - Report unsafe behavior.	- Respect athletic property & surroundings. - Be engaged in the event.
--	--	---	--	---	--	---	--

ポジティブ行動介入と支援 ポジティブ行動介入と支援 (PBIS)は、生徒の行動、学業、社

会性、情緒、そして精神面の健康をサポートするための、エビデンスに基づいた段階的な枠組みです。忠実に実践することで、PBISは社会情緒能力、学業成績、そして学校環境を改善します。これは、誰もが成長できる、ポジティブで予測可能、公平で安全な学習環境を作り出すための方法です。

PBIS とは何ですか？

積極的行動介入およびサポート (PBIS) は、すべての生徒の学業、社会性、感情、行動能力をサポートする多層的な連続体に沿って、証拠に基づき予防および介入の実践の選択と使用を最大限にするための実装フレームワークです。

明確な期待

学校コミュニティは、学校の使命と一致し、スタッフと生徒のあらゆる環境と状況での行動を導く、学校全体の包括的な行動期待を 3 ～ 5 つ (幼児期は 2 ～ 3 つ) 特定します。

包括的な指導

学校全体の期待事項について体系的かつ明確な指導が提供されるほか、学校環境の各領域で期待される行動を実践し、フィードバックを受ける機会も提供されます。

行動を認識し修正するための一貫したシステム

スタッフは、予測される行動について、肯定的/否定的比率4:1で、タイムリーかつ具体的なフィードバックを提供します。予期せぬ行動を最小限に抑え、対処するための積極的な対策として、以下の対策が講じられます。• 積極的な監督 • 積極的なスケジュール設定 • 論理的な結果と再指導 • 行動への対応に関する明確な手順 • 行動のきっかけを排除するための支援的な環境

支援的な文化

正確かつ持続的な実践を可能にするため、学区全体および学校全体のシステムを構築しました。チームはデータに基づき意思決定を行い、すべての生徒に効果的な学業面および行動面の多層的な支援システムを提供する学校インフラの構築に注力しています。目標達成度と目標達成度を測るため、進捗状況のモニタリングを実施しました。

コミュニティとのつながり

学校や学区は、行政の取り組みと関与のもと、チームベースの構造を活用して、すべての利害関係者グループ間で良好な関係を構築することに重点を置き、文化的に敏感な慣行の一貫した実施を確実にします。

ティア1

Tier 1の実践とシステムは、望ましくない行動を防止しながら、定期的かつ積極的な支援の基盤を確立します。学校は、これらの普遍的な支援を学校全体ですべての生徒に提供します。

ティア2

ティア2の実践とシステムは、より深刻な問題行動に発展するリスクのある生徒を、問題行動が始まる前に支援します。これらの支援は、生徒が学校のコアプログラムの恩恵を受けるために必要なスキルを身に付けるのに役立ちます。

ティア3

Tier 3では、生徒は行動面と学業面の成果を向上させるために、より集中的で個別的な支援を受けます。このレベルでは、学校は正式な評価に基づいて生徒のニーズを判断します。

インセンティブ

行動基準を満たした生徒にはインセンティブが与えられます。生徒は、期待を満たす、あるいは期待を上回る行動をモデルとして示すことで、教室でチケットを獲得します。生徒はそれを提出することができます。

チケットを提出することで、賞品、特典、または報酬を受け取ることができます。チケットを提出すると、学生は賞品を選ぶことができ、四半期ごと、学期ごとに賞品を獲得するチャンスがあります。

学校全体の行動プロセス:

ステップ1: 警告

ステップ2 :最後に出る

ステップ3 :電話

ステップ4 :オフィス紹介

学生規律と行動規範

非暴力の誓い

- フィンドレー高校コミュニティの一員として、私は次の行動をとります。1. 尊敬と親切の態度を示します。
2. 怒って他人と対立するのはやめましょう。
 3. いかなる身体的暴力も行使したり脅迫したりしないでください。
 4. いかなる形であれ、身体的な戦いに参加するのは控えてください。
 5. 汚い言葉や卑猥な言葉の使用は控えてください。

上記の支援のために、私は以下の介入が利用可能であることを認識しています。

自分:

- カウンセラーに相談する• 校長に相談する• 調停を利用する• 教師に相談する

非暴力声明

良き行動は、他者の権利を尊重し、配慮することに基づいています。生徒は、他者の権利を侵害しないよう行動することが求められます。フィンドレー高校の生徒は、校則を遵守し、権限のある学校職員の指示に従います。校内および／または学校関連行事において、定められた校則に従わない生徒、または学校職員からの合理的な要求に従わない生徒は、承認された生徒規律規則に従って処分されます。フィンドレー高校は、生徒による暴力的、妨害的、または不適切な行為を容認しません。そのような行為は、生徒行動規範に定められているとおり禁止されています。

学生規律規定

フィンドレー高校では、生徒の積極的な選択を奨励しています。それは、効果的な学習に必要な、良き行いを育む雰囲気を醸成するためです。私たちは、

学生の大多数は学ぶためにここに来ています。学生には、否定的な判断がもたらす結果について適切な警告を与える必要があります。肯定的な学習体験ができる教育環境を確保することは、私たちの義務であり責任です。規律規定は、この目的を果たすために記載されています。

以下の行動規範は、生徒が学校敷地内、学校主催の活動、高校の視界内（昼食の自由時間を含む）、その他学校関係者の指示下にある場合に適用されます。また、不正行為が学区が所有または管理する施設内で発生した活動または事件に関連する場合、または不正行為が学区の職員もしくは従業員、または学区の職員もしくは従業員の施設に向けられた場合、これらの規範は学校敷地外にも適用されます。生徒が学校の敷地内または学校の管轄下にある間に、以下の行動規範の1つ以上に違反したり、行動規範に違反している生徒を支援、帮助、教唆したりすると、口頭または書面による警告または叱責、スクールカウンセラーへの照会、保護者との面談または面談、社会奉仕活動、登校前、昼食後、放課後の居残り、校内課題、停学、緊急退学、退学、または適切な当局への告訴照会を含む管理者が適切と判断するその他の代替措置を含む懲戒処分の対象となる場合があります。

教育長、校長、または副校長は、行動規範に違反した生徒を最長 10 日間停学にすることができます。教育長は最長 80 日間、場合によっては 1 年間、生徒を退学にすることができます。アルコールや薬物の使用または所持、あるいは過度の無断欠席により停学または退学になった生徒は、運転免許証が停止されることがあります。停学または退学になった生徒は、学校の敷地内に入ること、学校の活動やコンテストに参加すること、学校が管理する活動や敷地内にいることはできません。退学になった場合、FHS または Millstream、または大学、CCP で生徒の自己負担で受講しているコースの単位が失われることがあります。学校当局は、災害の日や不測の事態により、独自の裁量で ISA または OSS のスケジュールを変更する権利を有します。

課外活動や学校行事（卒業式、プロム、スポーツイベントなど）への参加は権利ではなく特権です。行動規範に違反した場合、これらの特権の剥奪に加え、他の学校規律の対象となる場合があります。この規範の遵守は必須です。

FHS行動規範

1. 学術上の不正行為

学生は、不正行為、不正アクセス、コンピュータへの不正使用、著作権侵害、盗作など、学業上の不正行為を行ってはなりません。適切な証拠書類を伴わずに他者または団体（ChatGPTを含むがこれに限定されない人工知能）のアイデアや言葉を使用することは、盗作と呼ばれる一種の文学的窃盗行為です。この規定に違反した学生は、問題の課題に対して0点の評価を受け、別の課題の提出が求められるほか、その他の懲戒処分が科される可能性があります。

2. 改ざんまたは偽造されたパス／書類すべ

ての生徒は、学校当局の要請があった場合、速やかに正確な身元確認を行わなければなりません。生徒は、偽造、改ざん、または不正な書類の使用を行ってはなりません。また、他人の名前を偽造したり、時間、日付、成績、住所、その他の情報を口頭または書面で偽造したりしてはなりません。

3. いじめと新入生へのいじめ

生徒は、他の生徒または他者をいじめたり、しごき立てたりしてはならない。しごき立てとは、生徒または他の組織への入会勧誘行為、あるいは被害者を含む他者に対し、精神的または身体的危害を引き起こす、または引き起こす重大な危険を生じさせる行為を行うこと、または強制することを指す。

いじめ、嫌がらせ、脅迫とは、生徒が他の特定の生徒に対して複数回、書面、口頭、電子的、または身体的な意図的な行為を指します。この意図的な行為には、交際関係における暴力も含まれます。これらの行為は、他の生徒に精神的または身体的危害を与え、かつ、その生徒にとって威圧的、脅迫的、または虐待的な教育環境を生み出すほど深刻、持続的、または蔓延している場合を指します。

この行為は、学校の敷地内、スクールバス内、または学校主催の活動では禁止されています。

写真を含む学校出版物は著作権で保護されており、書面による許可なしの写真の使用は固く禁じられています。ネットいじめを含むいじめ行為を行った生徒は、停学処分を含む処分を受ける可能性があります。

いじめを報告した後に嫌がらせや報復を受けることを恐れる生徒は、副校長またはスクールカウンセラーに相談してください。生徒はいじめの事実を学校職員に報告することができ、匿名でも報告できます。また、419-429-8994に電話をしていじめの報告をすることもできます。FHSのウェブページから報告を提出すると、管理者のメールアドレスに直接送信されます。いじめについて虚偽の報告をした生徒は、停学処分を受ける可能性があります。

4. 私有財産への損害

生徒は、私有財産（学校敷地内外、または学校行事における学校職員の私有財産を含む）に損害を与えたり、煽動したり、損害を与えようとしたりしてはなりません。損害を受けた財産の交換または修理には、学校による処分に加えて費用が課される場合があります。

5. 学校施設への損害

生徒は、学校の建物、敷地、設備、資材などを含む学校の財産に損害を与えたり、煽動したり、損害を与えようとしたりしてはなりません。損害を受けた財産については、学校による処分に加えて、交換または修理費用が課される場合があります。

6. 危険な活動、武器、器具

生徒は、生徒、教師、その他の学校職員の健康または安全を脅かす、危険にさらす、または脅かす傾向のある活動に従事してはなりません。生徒は、武器または暴力手段とみなされる可能性のあるいかなる物品も所持、取り扱い、譲渡、または隠匿してはなりません。類似の武器は実在の武器として扱われます。

銃器の定義は、爆発物の作用によって発射体を発射するように設計されているか、または容易に改造できる武器（スターターガンを含む）であり、そのフレームまたはレシーバーは

当該武器、銃器用消音器、銃器用サイレンサー、または爆発性ガス、焼夷性ガス、有毒ガス、爆弾、手榴弾、4オンスを超える推進剤を充填したロケット、1/4オンスを超える爆発性または焼夷性ガスを充填したミサイル、地雷、または上記に類似する装置を含む破壊装置（18 USCA第921条に定義）。ナイフとは、鋭利な刃を有し、深刻な身体的傷害を引き起こす可能性のある切断器具と定義されます。

次の両方に該当する場合、生徒は学校の敷地内、学校または校舎内、学校行事中、または学校の車両内で物体を所持することは禁止されます。

1. 当該物体が銃器と区別がつかない場合、当該物体が解雇される。
2. その人がその物体を所持しておりそれが銃器であることを示す、または、その物体を展示もしくは振り回してそれが銃器であることを示す。

州法の定義および本方針の趣旨において、「銃器と判別不能な物体」とは、銃器に関する専門的な訓練を受けていない一般の人にとって銃器と認識されるように製作、構築、または改造された物体を指します。• 本方針は、上記のいずれかを学校の敷地内、学校車両、または学校対抗競技会、課外活動、または学区

が主催するその他のプログラムや活動に持ち込む場合に適用されます。• このような行為の例としては、火災警報器、消火器、AED、SafeDefend ボックスの改ざん、安全対策またはセキュリティ対策の違反、その他地方自治体または連邦法に違反する可能性のある物品の持ち込みなどが挙げられます。

7. 学校の混乱

生徒は、行動、言葉、身振り、画像、テクノロジー、暴力、強制、威圧、脅迫、嫌がらせ、不服従、または度重なる非協力行為によって、すべてのカリキュラム、課外活動、運動、課外活動を含む教育プロセスを妨害または阻害してはなりません。生徒は教室などの学習エリアにのみ入室が許可され、正当な学校関連活動に従事していない限り、授業終了後は速やかに退校することが求められます。学校の妨害行為には、理事会、教育長、または校長が随時定めるその他の規則を遵守しないことも含まれます。

8. 服装、外見

フィンドレー高等学校は、公平な教育へのアクセスと、生徒の個性を安全かつ健全に表現することをサポートしています。生徒は、生徒全体の健康、福祉、安全を確保し、敬意を払い、前向きで、非暴力的な生徒のイメージを高めるような服装をしなければなりません。したがって、高校での学習環境と安全条件を最大限に高めるために、以下の期待に従う必要があります。• 衣服およびアクセサリーは、麻薬、アルコール、タバコ、性、ギャング、冒涇、暴力を暗示または奨励するもの、または民族、文化、宗教、人種、または

法的に保護されたグループに不快感を与えるものであってはなりません。• 衣服およびアクセサリーは、安全上の懸念を引き起こすものであってはなりません（武器として使用できるものを含む）。• 衣服およびアクセサリーは、胸、腹

部、背中、および臀部を覆う必要があります。タンクトップとカットオフシャツは、すべての下着、背中、胸、および脇が覆われている場合にのみ許可されます。

肌を過度に露出する服装は、学校環境にふさわしくないとみなされます。常に靴またはサンダルを着用してください。帽子やその他の頭飾り（特定の生徒の宗教で義務付けられている場合を除く）は、顔がはっきりと見え、他の人の視界を妨げないものでなければなりません。

学校管理者から特別な許可がない限り、サングラスやフードを着用することは許可されません。

- 装飾用の衣服として、スパイク付きのブレスレットやネックレス、または長いチェーン。• フェイスペイント、猫耳、眼帯、マスクなどのコスチュームは、管理者の承認がない限り許可されません
- 教育プロセスに重大な支障をきたす合理的なリスクを生じさせる衣服やアクセサリ（衣装、フェイスペイントなどを含む）は許可されません。
学校側は、特別な行事など、例外を認める場合があります。• 生徒は、不適切な服装を隠したり、着替えたり、脱いだりするように指示されるか、帰宅して適切な服装に着替えるよう求められる場合があります。服装規定に違反した場合、学校からの懲戒処分や、その日の残りの授業時間におけるISAP（国際学生自主学習プログラム）への参加につながる可能性があります。• ブックバッグ、ブリーフケース、ダッフルバッグ、ラップトップ/コンピューターバッグ、またはその他類似の物品
教科書を入れるハンドバッグなど、校舎に入るときや出るとき以外は、教室に持ち込んだり、廊下で持ち歩いたりしてはいけません。• 管理者の許可がない限り、スピリットウィーク/ドレスアップデー中はすべての服装規定を遵守しなければなりません。
- その他、運営側が不適切と判断した服装。

9. 懲戒処分の不履行学生は懲戒処分の不履行をしてはならない。

10. 虚偽の報告学生は、

学校職員による調査や懲戒処分につながるような虚偽の陳述、虚偽の告発、または虚偽の情報提供を行ってはなりません。また、法執行機関の介入につながる可能性のある、あるいは実際にそうなる可能性のある虚偽の報告や虚偽の申し立てを行ってはなりません。

11. 恐ろしい、屈辱的な、または不名誉な行為/無礼な行動

生徒は、書面、口頭、視覚、身振り、および／または技術的な手段を用いて、教師、生徒、またはその他の者を恐怖、侮辱、または恐怖、侮辱、または侮辱を与える可能性のある行為を行ってはなりません。生徒は、他の生徒、学校職員、および学校訪問者に対して無礼な態度を取ってはなりません。

12. ギャング活動の定

義：「ギャング」とは、違法行為の実行、ギャングの目に見える側面の誇示または伝達、あるいは規律違反行為の実行を目的とする2人以上の集団を指します。安全で暴力のない学校環境を確保するため、フィンドレー高校ではギャングおよびギャング活動を以下の通り禁止しています。

- 衣服、宝石、紋章、バッジ、その他の物品を着用、所持、使用、配布、展示、販売すること。
いかなるギャングへの所属、提携、または提携を示唆する証拠、反映するシンボル、標識、またはその他のアイテム。

- ジェスチャーや握手、ギャングへの所属や提携を示す行為など、言語的または非言語的な行為に従事すること。

- ギャングやギャング活動の利益を増進する行為に従事すること。これには以下が含まれますが、これに限定されま

せんが、次の行為は禁止されています。■「保護」のために金銭を要求したり、明示的または暗示的に、その他の違法または禁止行為で脅迫すること。■ギャング関連の落書きを描いたり、書いたり、タトゥーを入れたり、その他の方法で刻み込んだりすること。
学校の敷地内または学校に持ち込まれた私物にメッセージ、シンボル、または標識を掲示すること。

■暴力、恐喝、その他の違法行為、または本規約に違反する行為
学校の方針。

■ 他人に対して身体的暴力を振るうよう勧誘すること。

13. 不服従/指示、方針、規則などの違反

生徒は学校職員による合理的な指示を無視したり、従うことを拒否したりすることはできません。

生徒は、教師、教育実習生、代用教師、教師補助員、校長、またはその他の認可された学校職員の監督下にある間は、その指示、方針、規則などに従わなければなりません。

14. 麻薬、アルコール飲料、カフェイン錠剤、興奮剤、市販薬または処方薬、およびその他の錠剤/物質 生徒は、学校の建物内、学校の敷地内、または学校や学校主催の活動への

参加中に、ステロイド、麻薬、幻覚剤、アンフェタミン、カフェイン錠剤、バルビツール酸塩、マリファナ（ベイプデバイス、リキッド、または食用を含む）、アルコール飲料またはアルコール代替品として宣伝されている飲料、吸入剤、麻薬関連器具、その他の錠剤/物質、またはその他の精神を変える物質を、展示、所持、販売、販売済み、同席、伝達、伝達済み、隠蔽、購入、購入済み、使用、または使用させてはなりません。これには、処方薬および市販薬の所持、販売および/または配布が含まれます。学生は、偽造または類似の薬物を使用、所持、配布、配布済み、販売、購入、購入済み、または包装することはできません。

空のアルコール容器も学校敷地内への持ち込みは禁止されています。

偽造規制物質は次のように定義されます。

- 所有者の許可なく商標、商号、識別マークが表示されている、または容器やラベルに表示されている薬物。• 規制薬物として表示されている物質。• 規制薬物以外の物質で、合理的な人が

規制物質となる。

このポリシーに違反した場合の結果は、教育委員会ポリシー JFCH/JFCI およびその他の適用されるすべての懲戒ポリシーに従います。

市販薬または処方薬学生は市販薬または処方薬を所持、使用、譲渡、販売、または隠匿してはなりません。

生徒が学校で処方薬を服用する必要がある場合、保護者の方は医師の署名入りの医療同意書を提出してください。お預かりした薬は学校の事務室で登録・保管されます。

15. 許可されたエリア外/無断欠席/過度の欠席/遅刻

許可エリア外／不登校 生徒は、授業中は常に指定されたエリアにいなければなりません。許可なく授業を抜け出すことを含め、授業時間中に意図的に学校または授業を欠席することは禁止されています。生徒は、学校職員の監督下に入った後は、指定された下校時間前に正式な許可なく、学校の敷地または指定された教育施設を離れることはできません。これには、授業中に許可なく車両を利用することも含まれます。

無断欠席/過度の欠席/遅刻については、理事会が採択した方針が適用されます。

16. 公衆の面前での愛情表現

生徒は、学校の敷地内、学校の管理下にある間、または学校関連の活動中に、身体的な愛情表現や不適切な身体的接触を行ってはなりません。

17. セクシャルハラスメント/デートDV教育委員会のウェブ

ウェブサイトに掲載されている委員会方針 ACAA および規則 ACAA-R を参照してください。

学生は、学生または他の人とのデートDVやセクスティングに参加することはできません。

デートDVまたは交際相手への虐待とは、交際相手を支配するために、身体的、性的、言語的、または感情的な虐待を行ったり脅したりする行動パターンです。

18. テクノロジー

コンピュータテクノロジーとネットワークに関するガイドラインハ

ンドブック、理事会のポリシーEDE、規則EDE-Rに記載されているガイドラインに従わない学生は、ラボでの課題の完了、アカウントへのアクセス、インターネットの使用権を失います。また、追加の懲戒処分または法的措置の対象となる場合があります。

違反が複数回あった場合、当該学期、学年、または高校在学期間中、コンピュータの使用を禁止される可能性があります。いかなるコンピュータも、いつでも、いかなる理由でも、データ検索の対象となります。学校のコンピュータでは、いかなる時もプライバシー権は認められません。

インターネット フィルターを回避しようとしていることが判明した生徒は、FCS 技術協定に従って懲戒処分の対象となり、初犯の場合、生徒のコンピュータ ネットワークおよびインターネットへのアクセスが停止され、個人用テクノロジー デバイスを学校に持ち込むことが禁止される可能性があります。

携帯電話／個人用通信機器生徒がクラスメイト、教師、そし

て授業に積極的に参加できる学校環境を支援するため、フィンドレイ市立学校教育委員会は、授業時間中の生徒による携帯電話の使用を制限することを決定しました。この方針の目的は、卓越した学力、多様な機会、そして真の帰属意識を通してすべての生徒の夢を叶えるという私たちの使命に基づき、フィンドレイ市立学校の学習への重点を強化することです。

I.研究

研究によると、学校での携帯電話の使用は、生徒の成績と精神衛生に悪影響を及ぼすことが示されています。

携帯電話は生徒の学習の妨げとなり、学習効果の低下やテストの点数低下につながります。携帯電話の使用頻度の増加

携帯電話の使用は、子供たちのうつ病、不安、その他の精神疾患の増加につながっています。

II. 適用範囲このポ

リシーは、授業時間中に学校敷地内にいる生徒が携帯電話を使用する場合に適用されます。

III. 携帯電話の使用学生は携帯電

話を常時使用することは禁止されています。

IV. 例外このポリ

シーのいかなる条項も、オハイオ州改正法典第 3323 章に基づいて開発された学生の個別教育プログラム、または「1973 年リハビリテーション法」第 504 条 (29 USC 794) に基づいて開発された計画に記載されている目的で学生が携帯電話を使用することを禁止するものではありません。学生は、健康上の懸念を監視または対処するために携帯電話を使用できます。

V. 携帯電話の保管携帯電

話の使用が禁止されているときは常に、生徒は携帯電話を生徒用ロッカー、閉じたバックパック、学区が提供する保管装置などの安全な場所に保管しなければなりません。

6. 規律

生徒がこのポリシーに違反した場合、教師または管理者は、以下の段階的に厳しい懲戒処分を講じるものとします。

A. 残りの期間、生徒の携帯電話を学校の中央オフィスに保管する。

学校の日。

B. 生徒の携帯電話を学校の中央事務所に置き、生徒の親または保護者が受け取れるようにします。

C. 生徒の親または保護者と面談し、

学生の携帯電話の使用。

学生の違反は学期ごとにリセットされます。

七. ワイヤレスヘッドフォン : 生

徒はワイヤレスヘッドフォンの使用は許可されません。有線ヘッドフォンの使用は、学校職員の裁量により制限されます。

これは、オハイオ州議会法案 250 条 3313.753 の最近の修正に準拠しています。

セクスティングとは、ヌード、わいせつ、ポルノ、卑猥な画像、その他違法な写真画像を、電子データ転送またはその他の手段により所持、撮影、頒布、譲渡、または共有することを指します。これは州法および／または連邦法の下で犯罪を構成する可能性があり、適切な法執行機関に通報される場合があります。学校の敷地内、スクールバス、学校主催のイベント、または学校の学習環境を妨害するデートDVまたはセクスティングは禁止されています。

19. 窃盗

生徒は、学区の財産や備品、または学区の他の生徒、教師、訪問者、または従業員の財産を持ち去ったり、持ち去ろうとしたりしてはなりません。

20. 脅迫

生徒は、校舎内または脅迫時に校内活動が行われている敷地内に対して、いかなる脅迫行為も行ってはなりません。脅迫行為には、爆破脅迫や、パニックを誘発したり、精神的、身体的、感情的な危害を与える可能性のある暴力脅迫などが含まれますが、これらに限定されません。

21. 脅迫/威嚇身体的危害を受ける可能

性があると他人に信じ込ませること（威嚇）。生徒は、生徒、教師、その他の学校職員、または訪問者に対して、身体的暴力で脅迫したり、いかなる手段によっても強制したりしてはなりません。生徒は、他の生徒または人物に対し、身体的暴力で脅迫したり、いかなる手段によっても生徒、教師、その他の学校職員、または訪問者を強制したりするよう促してはなりません。脅迫には、他の生徒または人物から金銭またはその他の貴重品をゆすったりするために使用される脅迫が含まれますが、これに限定されません。生徒は、脅迫、嫌がらせ、威嚇、または人、財産、または名誉への損害によって、生徒、学校職員、またはその他の人物に対して貴重品を手放すことを強要したり、強要しようとしていたりしてはなりません。

22. タバコ/ニコチン生徒は、

学区の管理下にあるエリア、または学区が監督する活動において、タバコ/ニコチンを含む物質またはデバイス、あるいは器具（電子タバコ、電子液体、ポーチ、パイプデバイスを含むがこれらに限定されない）を展示、所持、販売、販売済み、存在、伝達、伝達済み、隠匿、購入、購入済み、使用、または使用させてはなりません。

「見張り」の役割を果たしたり、喫煙者を補助したり教唆したりする学生は、禁煙規則違反者と同様に懲戒処分を受ける。

23. 交通スクールバス

の交通すべての生徒はバス
運転手の指示に従い、基本的な安全規則を遵守しなければなりません。

生徒の不

注意運転または無謀運転：学校敷地内または学校行事において、人や財産を危険にさらすような運転。これには、自動車、自転車、モペット、電動スクーター、スクーター、スケートボードなどが含まれますが、これらに限定されません。

24. 許可されていない身体接触

学校の敷地内または学校の管轄下の行事に参加中に、学校の生徒や職員、またはその他の人物に物理的に触れたり、殴ったりする行為。

他者の不正行為（喧嘩を含む）を扇動する生徒は、暴力禁止規定に違反した場合と同様に懲戒処分を受けることがあります。

以下のいずれかのレベルに該当する生徒は、停学処分または退学勧告を受ける場合があります。

- レベル I - 学校の管轄下にある間、許可されていない接触（人対人または物による）、押す、突く、お互いまたは他の人への拘束。
- レベル II - 学校の管轄下にある間、2 人以上の生徒が身体的危害（喧嘩）を引き起こしたり、お互いまたは他の人に身体的危害を引き起こす恐れのある行動をとってはなりません。
- レベル III - 生徒は他の人を攻撃しようとしたり故意に攻撃したりしてはならない[学校職員、学校の管轄下にある間、他の生徒に対して、危害を加えたり身体的傷害を与える意図の有無にかかわらず、身体的傷害を与える恐れのある行動をとること。

25. 不規則な行動不規則な

行動には、学校職員からの正当な要求に従うことを拒否することや、教室やその他の学校の混乱を引き起こすその他の行動が含まれますが、これらに限定されません。

26. わいせつまたは差別的な言葉、素材、行動、ジェスチャーの使用

生徒は、卑猥な言葉、下品な言葉、冒とく的な言葉、差別的な言葉を使用したり、不適切な身振りや行動をしたり、下品な物品を所持したりしてはなりません。注: 差別的言葉とは、人種、肌の色、国籍、市民権の状態、経済的状态、婚姻状況、妊娠、性別（性的指向およびトランスジェンダーのアイデンティティを含む）、障がい、年齢、宗教、祖先、遺伝情報など、1 つ以上の特徴に基づいて個人またはグループを軽蔑する口頭または書面によるコメント、ジョーク、中傷のことと定義されます。身体的傷害、脅迫、または嫌がらせを扇動および誘発する目的で、学校の秩序と安全を脅かし、学校の学習環境に悪影響を及ぼします。その他の民族的脅迫には、喧嘩、破壊行為、脅迫などがあり、行動規範の 1 つ以上のセクションに基づいて処罰される可能性があります。

27. 卑猥な言葉/わいせつな言葉/罵り言葉の使用

学校敷地内では、卑猥な言葉やわいせつな言葉の使用は認められません。わいせつまたは中傷的な内容を含む、あるいは教育プロセスを妨害し、他者の考えや意見を表明または受け取る権利を侵害する可能性のある資料は、印刷、配布、または閲覧することはできません。

早期警告の裁判前会議生徒の行動規範に継続的に違反する生

徒に対する紹介プロセスには、教師と学校職員がそのような行動を示す生徒を特定し、生徒と家族にサポートと介入を提供し、必要に応じて追加のサービスを紹介することが含まれます。

生徒とその家族が複数回の試みにもかかわらず推奨されたサービスを受けない場合、または当該行為が学校の安全に重大なリスクをもたらす場合、学校は早期警告のための裁判前協議を開始することがあります。生徒の行動が極めて懸念されるものであり、かつ当該生徒の性格にそぐわないと判断された場合、個別の状況により、より早期の協議が必要となる場合があります。

早期警告事前裁判会議の最終的な目標は、生徒と保護者が行動上の問題に対処できるよう支援し、前向きで安全な学校環境を促進し、行動の根底にある問題に対処するために必要な介入とサービスを提供することです。これは、ORC 2919.24、2151.02 B に記載されているガイドラインに準拠しています。

免責事項

このハンドブックに掲載されている校則は、連邦、州、または地域の規制を継続的に遵守するために必要な変更の対象となり、学校の通常の運営に必要な見直しと修正の対象となります。すべての行動規則をガイドブックに書き込んで掲載することはできませんが、生徒には合理的な規則に従い、他者の権利を侵害しないことを期待しています。このハンドブックの規定は、学校、学校敷地内、学校主催の活動、または学校関係者の権限に従うその他の場所でも有効です。これらの規則は、学区が所有する土地、所有する土地の視界内、または学区が管理する土地で発生した活動または事件に不正行為が関連する場合、学校敷地外でも適用されます。これらの規則は、不正行為が学区の役員または従業員、または学区の役員または従業員の土地に向けられた場合にも、学校敷地外に適用されます。

適正手続きと控訴

学校外停学、退学、および退学処分学校外停学、退学、および緊急退学処

分に関する適正手続きは、オハイオ州改正法典第3313.66条およびJGD、JGDA、JGE、JGF、JGF-R、JEGAを含むすべての関連委員会の方針に従います。学校内での代替措置については、適正手続きによる保証は一切ありません。停学期間は、停学処分が科された時点から1暦年を超えて延長することはできません。学校外停学処分が科された場合、生徒は学校または課外活動に参加することはできません。授業の課題は、担当校長の裁量により、単位または部分単位として補講される場合があります。

特定の課外活動からの生徒の停学処分に関しては、改正法典第3313.664条に規定されている以上の適正手続きによる保障は適用されません。学区長は、本方針または当該活動に適用されるその他の正式に公布された規則に違反した場合、他の懲戒処分とは別に、またはそれらの代わりに、生徒に対し、特定の課外活動またはすべての課外活動への参加を禁止することができます。

同様に、体育部長、関連コーチ、またはディレクターは、本方針または問題の活動に適用されるその他の正式に公布された規則の違反に対する懲戒処分とは別に、またはその代わりに、当該人物の責任範囲内にある特定の課外活動またはすべての課外活動を学生に対して禁止することができます。

18歳の学生

18歳の生徒は、フィンドレー高校の規則と規定を遵守し、指定された学校行事に出席しなければなりません。扶養を受けている18歳の生徒については、保護者に欠席届を提出していただくようお願いいたします。一人暮らしの生徒は、学校側からの要請に応じて居住地を証明しなければなりません。18歳以上の生徒は、18歳の誕生日または最終登校日まで遡って、正当な理由なく長期間欠席した場合、退学処分となる場合があります。成人生徒の出席状況を監視し、サポートを提供するため、18歳の生徒は出席監視対象となり、長期間欠席した場合は医師の診断書の提出、または学校看護師による許可が必要となる場合があります。

18歳の学生は、自らの教育に責任を持つ法的成人として認められることを希望する旨を書面で申請することができます。この申請が行われた場合、学校からのすべての連絡は学生宛となり、保護者はお子様の教育に関して直接連絡を取る必要があります。書面による申請を受理後、保護者にこの決定を通知する通知が送付されます。

表現と集会の自由

口頭および文章による表現と集会 学校は、その性質上、自由な探究と自由な思想表現を奨励しなければなりません。自己表現において、生徒は中傷的、冒とく的、または卑猥な発言を控え、討論グループの参加者全員が自由に自己表現できる機会を与えられるよう行動する責任を負います。憲法で保障されている他のすべての権利と同様、平和的に集会する市民個人の権利も、その行使が他の市民の権利と自由を侵害する場合には、慎重な制限の対象となります。意見や信念を表明する適切な時と場所があります。学校や教室の運営を妨げるデモは禁止されています。

象徴的表現と関連活動

象徴的表現とは、個人の考え、感情、態度、意見を、言語表現そのものよりも遠い形で、しかし言語表現そのものと同様に有効な方法で伝える表現です。生徒は、健康や安全を危険にさらしたり、財産を損なったり、他者の活動を妨害したり、わいせつな内容でない限り、象徴的表現を自由に決定することができます。

搜索と押収

以下の規則は、特定の生徒に割り当てられた学校所有物、および/または学校敷地内または学校関連の活動に持ち込まれた物品の搜索および押収に適用されます。

- 学校当局はいつでも学校施設の一般的な搜索を行う可能性があります。
法執行当局の支援を受ける場合もあります。
- 学校は警察の捜査に全面的に協力します。これには、
犬によるパトロールプログラムの使用は教育委員会の方針に従います。
- 学校当局が緊急の危害を防ぐために必要であると判断した場合、
生徒自身または他の者への銃器所持について、生徒は他の市民と同様に尋問または搜索を受けることができる。
いかなる搜索も非公開で行われる。• 学校当局が銃器所持の疑いがあると信じるに足る合理的な根拠がある場合に限り。
特定のアイテムの持ち込みはルール違反となります。
- ロッカーは教育委員会の所有物であり、生徒には物品保管用のロッカーが割り当てられます。検査はいつでも実施される可能性があります。
- 違法物品（銃器、武器、発煙弾）またはその他違法と認められる所持品
他人の安全やセキュリティを脅かすと判断された物品は、学校当局によって押収され、関係する生徒と保護者に通知されます。• 教育のプロセスを妨害または阻害するために使用される物品は、

学生の所有物から取り除かれます。

生徒が通学または学校関連の活動の交通手段として使用する自動車は、搜索される場合があります。学校敷地内に自動車を駐車する権利を行使した生徒は、学校管理者から搜索の要請があった場合、当該自動車の搜索に黙示的な同意を与えたものとみなされます。

*詳細については、委員会ポリシー JFG および JFG-R を参照してください。

監視カメラ

生徒の皆様には、学校敷地内および／または隣接敷地内における行動が防犯カメラによって監視される可能性があることを十分ご承知おきください。FERPA（連邦情報保護法）に従い、監視カメラの録画や資料へのアクセスは禁止されています。

電子タバコ

HALOスマートセンサーは建物全体で稼働しています。これらのセンサーは、以下のものを検知・監視するように設計されています。電子タバコおよびTHCの検知・空気質および環境モニタリング・キーワードアラート・攻撃および騒音

センサーが作動している間にその場にいた学生は、学生行動規範に従って処罰の対象となります。

[課外活動のルールと資格](#)*詳細については、保護者と生徒の学校間運動ハンドブックを参照してください。

目標と哲学

フィンドレー市立学校は、これらの規則の対象となるすべての参加者は、地域社会と生徒全体の両方に大きな影響力を持つ生徒であると考えています。この機会には、良き模範となる責任が伴います。したがって、これらの規則は、課外活動に参加するすべての参加者が、いかなる形態であっても薬物、アルコール、タバコを使用することを控えるよう設計されています。

これらの規則は、生徒の利益と福祉のために制定されています。生徒がこれらの規則を遵守できるよう、保護者の皆様のご支援と励ましが不可欠です。これらの規則は年間を通して有効です。課外活動規則と参加資格に関する規定は、学校のウェブサイトとフィンドレー市学区本部事務室に掲載されています。課外活動に参加する生徒には、これらの規定と手続きのコピーが配布されます。課外活動に参加する生徒は、フィンドレー市学区のすべての規定と手続きに従うことが義務付けられます。

スポーツマンシップ／運動競技への参加FHSの学生アスリート・リーダーシップ・チーム（SALT）、事務職員、そしてスタッフは、運動部への熱心な応援を推奨しています。すべてのファン、役員、コーチ、そして学生アスリートに敬意を払い、スポーツマンシップを育む積極的な行動をお願いします。

学校とコーチ/アドバイザーの責任

シーズンの最初の会議/イベントの前に、コーチ/アドバイザーは、これらのルールとスポーツや活動に特有の追加ルール、資格ガイドライン、およびスポーツや活動に関連するその他の情報を確認する目的で、保護者と生徒に公開する会議を開催する必要があります。保護者とお子様と一緒にこれらのルールを確認することを強くお勧めします。

資格

課外活動に参加する資格を維持するために、学生は以下の要件を遵守する必要があります。

現在のオハイオ州高校体育協会の最低基準 :1. 9年生から12年生の生徒は、前年度に5単位以上を合格している必要がある。

評価期間。

2. 7年生から8年生（9年生に入学する生徒を含む）は、合格点を取得している必要があります。

前回の評価期間中に登録した科目の 75% の成績。

3. 前回の評価期間において最低 1.5 の GPA を維持している。

4. 前回の評価期間中に登録した授業で、全単位または部分単位を問わず、F を 1 つ以上取得していない。

5. 生徒が8年生を修了するか、高校に入学する資格を得た後

課外活動については、参加の有無にかかわらず、出席順に 8 学期を超えない期間の参加資格を得ることができます。

一部の授業は 1 単位、一部の授業は 1/2 単位などになるため、学生/アスリートは最低 5 単位以上を取得することを強くお勧めします。オハイオ州高校体育協会の基準に従い、サマースクールの成績は資格審査には使用できません。

学術情報

学術上の不正行為

ライティングの目的は、学生が自身の考えを表現し、伝える能力を向上させることです。提出される文章が、学生自身の思考、調査、そして記録の成果物であることを、私たちは何よりも重視しています。

適切な文書化なしに他者または団体（ChatGPTを含むがこれに限定されない人工知能）のアイデアや言葉を使用することは、盗作と呼ばれる著作物の盗用の一種です。これは重大な犯罪であり、軽々しく対処されるべきではありません。盗作には以下の形態があります。

- 他人または団体が書いた、あるいは一部を他人が書いたものを学生自身の作品として提出した論文（宿題を含む）は、剽窃に該当します。他人や人工知能が手伝うことはありますが、手伝うからといって、実際に作業を任せるわけではありません。友人に校正や提案をしてもらうことは多くの場合役立ちますが、他人に何を言うか、どのように言うかを決めさせることは、書き手自身の表現能力を不当に歪曲する行為です。

- 盗作を目的として他の学生に課題を授受した学生も有罪となり、処罰の対象となります。• 他の情報源から一字一句コピーしたアイデアや、学生自身の課題に取り入れたアイデアは、

アイデアが適切に文書化されていない限り、言葉では表現できません。• CCP コースは、学術上の不正行為に関する大学のガイドラインに従います。

- 偽造された文書が含まれる譲渡。

剽窃を行った学生の無知の程度、あるいは故意の有無を判断するのは教師の責任です。教師は、他の2人の教師と協議するか、剽窃ソフトウェアを使用して、剽窃の程度を判断します。最も深刻なのは剽窃を行った学生です。無知から剽窃を行った学生を支援するのが教員の方針です。意図的な剽窃に対する措置には、以下のものがあります。•問題の課題の不合格（単位なし）。•単位なしの論文の修正。•元の課題の代わりに代替課題を提出すること。•全米優等生協会選考委員会への推薦。

故意の重大な違反があった場合は削除される可能性があります。

トランスクリプト

成績証明書は、フィンドレー高校在学中の生徒の学業成績の完全な記録であり、第三者試験機関（ACT、SAT、アドバンスト・ブレースメント、州テストなど）からフィンドレー高校に送付された成績証明書、および生徒がフィンドレー高校に転校する際に記録請求を通じて取得した成績証明書も含まれます。生徒は、第三者試験機関に学校のIRN番号または学校名を伝えることで、ACT、SAT、アドバンスト・ブレースメントのスコアを成績証明書に含めることに同意します。これらの成績証明書が第三者試験機関から高校に送付されると、生徒の学業成績の一部となります。

生徒の学業成績の一部として受け入れられるのは、第三者テスト会社から学校に直接送られたスコアのみです。College Board (SAT) の「スコア チョイス」とは、生徒のリクエストにより College Board から直接大学や奨学金プログラムに送られた特定のテスト スコアのみを指し、Findlay High School から転送されたテスト スコアは指しません。成績証明書には、修了済みおよび/または受講中のコース、退学による不合格（生徒が校長に承認されていない理由でコースを退学した場合）、クラスの順位、成績平均点、出席状況、コースの再受講、聴講などの情報も含まれます。Findlay High School は、事務的な間違いまたは保護者の書面による要請により ACT、SAT、AP スコアを削除する場合を除き、生徒の成績証明書の変更要請には応じません。成績証明書から ACT、SAT、AP スコアを削除するよう要請する書面には、理由を明記し、署名と日付を記入して、スクール カウンセラーに提出する必要があります。校長が決定を下します。保護者の要請によりスコアが削除された場合、いかなる理由があっても再入力することはできません。成績証明書からのスコア削除の要請は1回のみ可能です。州法で義務付けられている場合を除き、生徒の学費および罰金が全額支払われるまで、成績および単位は生徒、卒業生、またはその代理人に開示されません。フィンドレー高校の在校生は、Parchmentをご利用の間、成績証明書のコピーを無料で受け取ることができます。Parchmentへのリンクは、フィンドレー高校のウェブサイトにあります。8月1日までに要請された高校卒業証明書は無料ですが、それ以降は5ドルの手数料がかかります。

コースの聴講

十分な空きがあり、第1学期の中間試験の掲示後5授業日以内、または第2学期のコースの場合は第3学期の中間試験の掲示後5授業日以内（授業日が変更になる場合があります）に、校長、カウンセラー、および担当教員から書面による承認を得た場合、学生はコースを聴講することができます。締切日以降の聴講を希望する場合は、校長の承認が必要です。聴講したコースの単位は取得できません。入学は定員に限り、単位取得を目指す学生から優先的に受け入れます。

聴講生は、通常の授業と同様に出席し、指定された課題をすべてこなす、他の学生と同様に試験を受けなければなりません。成績証明書にはAUD*が記録されますが、GPA/クラス順位には反映されません。聴講生としての要件を満たさなかった学生は、当該コースから除籍され、Fの成績が付与される場合があります。この成績は成績証明書に記録され、GPA/クラス順位に反映されます。

コース料金

一部のコースでは、学生は授業料を支払う必要があります。授業料は、学生が当該コースで使用する教材の購入に充てられます。無料昼食の対象となる学生に課される授業料は、州法および連邦法を遵守した場合にのみ徴収されます。経済的な問題を抱えている学生は、カウンセラーまたは校長に相談してください。

信用の柔軟性

単位取得の柔軟性は、授業時間ではなく、パフォーマンスに焦点を移します。単位取得の柔軟性の目的は、グローバル化、テクノロジー、人口動態の変化に伴い、高校卒業に対する期待が高まっていること、そして21世紀型スキルへの需要に応えることです。単位取得の柔軟性により、生徒は以下の方法で高校卒業単位を取得できます。

1. 従来のコースの修了を通じて科目領域の能力を証明する仕事;
2. 承認された教育オプションの追求を通じてコースの内容をテストで免除するか、またはコースの内容を習得していることを示す、および/または 3. 上記のいずれかの組み合わせ。

クレジットフレックスは、生徒の多様な学習スタイル、学習ペース、興味を考慮し、それらに対応することで、生徒に創造性を発揮し、学問やキャリアへの関心を探求し、批判的思考力を養う機会を提供します。取得した単位は成績証明書に記録され、GPAに加算されます。単位の認定には、教師、学際的なチーム、地域の専門家によるパネル、または州のパフォーマンススペースの評価が用いられます。クレジットフレックスの提案は、高校の校長が委員長を務めるクレジットフレックス委員会の承認が必要です。生徒は、教育委員会のIGBMおよびIGBM-Rの方針と手順に従う責任があります。

信用回復

フィンドレイ高校では、卒業に必要な科目で不合格となった生徒に対し、科目全体を再履修させる代わりに、コンピュータ支援学習 (CAI)を利用して単位を回復する機会を提供します。この手続きの詳細については、スクールカウンセラーにお問い合わせください。

加速卒業

フィンドレイ市立学校教育委員会は、高校4年間はほとんどの生徒にとって貴重かつ重要であると考えています。しかしながら、一部の生徒が指定学年よりも早く高校を卒業することを含む教育目標を追求していることも教育委員会は認識しています。早期卒業を検討している生徒は、スクールカウンセラーと相談し、希望する学期が始まる前に早期卒業の申請を行う必要があります。

早期卒業の申請は、学校の規則に従って、生徒のスクールカウンセラーと高等学校の校長に提出されます。校長は、以下の場合、この申請を承認することができます。

卒業のすべての条件が満たされ、学生は卒業要件を満たしています。

学生の cohorts の配置は 7 月 1 日以降に調整されます。

教育長の許可があれば、生徒は指定されたクラスとともに卒業式に参加することができます。

早期卒業する生徒は、現在の FHS 生徒と一緒に参加しない限り、プロムに参加する資格がありません。

評価期間

評価期間の日付については、fcs.org の地区カレンダーを参照してください。

注意: 天候/災害による休校日は、州および学区のガイドラインに従って調整され、学区のウェブサイトに掲載されます。

卒業要件オハイオ州およびフィンドレー市

立学校では、法律の変更に従って卒業要件を義務付けています。

卒業要件は継続的に更新されます。最新の要件については、理事会の IKF 方針および IKF-R 規則を参照してください。

GPA 計算式4 点満点

方式と取得単位数に基づいて、各学期終了時の GPA を計算します。

A = 2ポイント

B = 1.5ポイント

C = 1ポイント

D = .5

F = 0点

学期単位: 各評価期間の成績は最終成績の 37.5%、試験の成績は最終成績の 25% となります。

累積GPAは各学期ごとに更新されます

卒業生代表/次席代表とクラス順位

卒業生代表および次席代表の栄誉を含むクラスの順位は、以下に示すいくつかの要素に基づいて決定されます。

卒業生代表または次席代表の栄誉を得るには、生徒は Findlay 高校に 2 年以上通学していなければなりません。

卒業年度の2月のテスト結果時点で、最低26単位（最低5つのAdvanced Placement (AP) コース、または5つのCollege Credit Plus (CCP) コース、または少なくとも合計5単位となるAP コースとCCP コースの両方の組み合わせを含む）を修了し、ACTで最高の総合スコア/スーパースコア総合スコアを獲得した最高のGPAを持つ学生が卒業生代表として認められます。

卒業年度の2月のテスト結果時点で、最低28単位（最低5つのAdvanced Placement (AP) コース、または5つのCollege Credit Plus (CCP) コース、または合計5単位以上のAP コースとCCP コースの両方の組み合わせを含む）を修了し、ACTで2番目に高い総合スコア/スーパースコア総合スコアを獲得した最高のGPAを持つ学生が、優等生として認定されます。

上記の卒業生代表の基準で同点の生徒が2名以上いる場合、卒業年度の3月時点のSAT（EBRWと数学の合計）の総合点が最も高い生徒が同点となり、SATで2番目に高い生徒が優秀生徒に選出されます。ACTとSATの両方のスコアを比較しても同点の場合は、複数の生徒が卒業生代表として選出され、どの生徒も優秀生徒に選出されません。

年。

上記の優等生表彰基準において2名以上の学生が同点となった場合、卒業年度の3月時点のSAT（EBRWと数学の合計点）の最高得点が同点となります。ACTとSATの両方の総合点でも同点となった場合は、複数の優等生が表彰されます。

卒業生代表と次席代表を除き、累計GPA4.0を達成した生徒は、卒業年度の2月のACTテスト結果に基づき、ACT総合スコア/スーパースコアによる総合スコアに基づいて順位付けされます。ACTスコアが同点の場合、同順位となり、次の順位はそれに応じて決定されます（下記の例を参照）。ACTスコアが入手できない場合は、4.0の区分内で最も低い順位に下がる場合があります。累計GPAが4.0を下回る場合、ACTスコアはそれ以上の順位付けに使用されません。

クラスを最も代表する適切なデータが存在することを確認するために、順位は生徒の6学期末に計算されます。

高校の単位取得のために履修した中学校の授業は、生徒のGPAの計算に含まれます。GPA4.0を達成した生徒は全員、シニア向けの表彰プログラムで表彰されます。
早期卒業生はランキング対象外となります。

ACTおよびSATの登録時に、スコアの送付先としてFindlay High Schoolを選択するのは生徒の責任です。FHSに直接送信されていない結果は、順位の計算に含まれません。

例: (以下の例の Val/Sal のその他の基準では、他の要件 (AP/CCP、28 単位など) が満たされていることが前提となります)

ヴァル - 4.0 - 35 - 1410

サル - 4.0 - 35 - 1370

4.0 - 34 - 3rd

4.0 - 33 - 4位

4.0 - 33 - 4位

4.0 - 29 - 6位

4.0 - 27 - 7位 4.0

- 24 - 8位 4.0 -

23 - 9位 4.0 - 23

- 9位

4.0 - 23 - 9位

4.0 - 20 - 12位
 4.0 - 18 - 13位
 4.0 - 16 - 14位
 4.0 - (ACTスコアなし) - 15位
 4.0 - (ACTスコアなし) - 15位
 3.97674 - 17位
 3.97368 - 18番目
 3.97368 - 18番目
 3.89248 - 20番目

評価基準

学年	CP	荣誉	AP
あ	92.0	90.0	86.0
B	82.0	80.0	80.0
C	72.0	70.0	70.0
D	62.0	60.0	60.0

上記のパーセンテージは各学年の最低値であり、パーセンテージは変更できません。
 丸みを帯びた。

成績レポート

単位は、学生が合格点を取った学期ごとに授与され、
 ただし、一部のミルストリーム プログラムでは、学期単位ではなく 1 年間の単位が付与されます。
 学生はFHSの年間コースで2.5単位を取得できます。例えば、学生は
 1学期を修了し、2学期を修了し、1学期の0.5単位を補う
 サマースクールまたは単位回復。学生は最低2つの合格点を取得する必要があります。
 各学期の2つの評価期間と学期試験から、単位を取得することができます。

単位は、学生が合格点を取った学期ごとに授与されます。
 例えば、学生が1年間（1単位）のコースに登録し、最初の学期に不合格になったが、
 2 学期目は半単位が付与されます。

学生はコースを再受講することができますが、そのコースの単位は2倍にはなりません。
 高い方の成績が生徒の成績平均点に加算されます。

卒業に必要な不合格科目はすべて再履修しなければなりません。不合格の成績は
 ただし、学生がコースを再受講する場合は、成績は上位の成績のみが計算されます。
 GPA。高校の単位・成績はすべて成績証明書に残して、正確な成績を反映させる必要があります。
 学業成績（例えば、中学校で取得した高校の単位、CCPで取得した単位など）
 コース、通信講座、サマースクールなど）。どの科目でも単位を取得するには、
 学生は学期末までにコースの要件を完了しなければなりません（
 不完全な発行）。

学生/保護者は、次の評価期間の終了時まで、評価期間中に与えられた成績に異議を申し立てることができます。

スケジュール変更セクションに記載されている期限後にコースを退学する学生は、以下の場合を除き、WD/Fを受け取ります。

- カウンセラーが管理者に退学を勧める場合、
生徒と保護者と協議し、酌量すべき事情があるかどうかを判断した上で、罰則を決定します。
- 学生がWD/Fを受けるかどうかの最終決定は、
高校の校長。

WD/Fは、各評価期間中の課外活動の資格の計算に使用されます。

WD/Fを受ける学生は、資格を得るため、または資格を維持するために、5つの追加単位クラスを取得し、他に不合格の成績を受けていないことを確認する必要があります。

体育免除ポリシー

~~体育免除 高校在学中に、インタースクー~~

ルの陸上競技、マーチングバンド、またはチアリーディングに少なくとも2シーズン参加した生徒は、卒業条件として体育科目を履修する必要はありません。ただし、別の科目で、少なくとも60時間の授業を含む0.5単位を履修する必要があります。

2019-2020年度より、高校在学中にショーコーラスに少なくとも2シーズン参加した生徒は、卒業条件として体育科目の履修が不要となります。ただし、別のコースで半単位（少なくとも60時間の授業）を履修する必要があります。

~~予備役将校訓練課程（JROTC）免除 JROTCに少なくとも2年間参加した学生~~

は、卒業条件として体育科目の履修が不要となります。また、JROTCへの参加で取得した単位は、体育科目の0.5単位として充当することができ、卒業に他の科目の履修は不要です。

優等生名簿

高校の成績優秀者名簿の決定には以下の基準が使用されます。

1. 優秀（Distinguished） - 3.75以上の成績で「C」以下の成績がない。WD/Fまたは不完全（INC）がない。
2. 優秀成績（Merit） - 3.25〜3.74で「C」以下の成績がないこと。WD/Fまたは不完全（INC）がないこと
3. A/B - すべての「A」または「B」の組み合わせ。WD/Fまたは不完全（INC）は不可。

優等卒業証書

オハイオ州教育省は、優等学位取得のための複数のオプションを設けており、アカデミック・オナーズ、国際バカロレア（FHSでは提供されていません）、キャリア・テック、STEM、芸術、社会科学と市民参加などが含まれます。生徒と保護者は、各コースの詳細についてはオハイオ州教育省のウェブサイトをご覧ください。アカデミック・オナーズ・ディプロマ取得のための定められた基準は以下の通りです。

高校卒業証書（優等）

学生は、オハイオ州教育省が定める以下の8つの基準のうち、少なくとも7つを満たす必要があります。アカデミックコースの学生の基準は次のとおりです。1. 英語で4単位を取得する。

2. 代数I、代数II、幾何学を含む数学4単位または同等の科目と、さらに上級レベルのコース、または同等の科目を含む4年間のコースを履修する。
コンテンツ。
3. 理科の単位を少なくとも4単位取得する
4. 社会科の単位を4単位取得する。
5. 外国語1科目につき3単位、または2つの異なる外国語科目それぞれにつき2単位を取得する。
外国語。
6. 美術科目の単位を1単位取得する。
7. 高校3年生の最初の学期終了後に決定される4段階評価で、高校全体の成績平均点を少なくとも3.5に維持します。
8. ACT総合スコア27点以上、またはSATで1280点以上を取得する。どちらのテストでも筆記セクションはスコアの計算には含まれません。

*SATが2016年3月以前に受験された場合は1210 **優等卒業証書の

要件は、オハイオ州改訂法典のすべての高校卒業要件を完了していることを前提としています。これには以下が含まれます：

a. 体育の1/2単位（またはFindlay City Schoolsによって定義された免除）

BOE) b.

アメリカ史の半単位 c. 健康の半単位 d. 政治の半単位

中間報告

教師は定期的に成績を更新します。生徒の進捗状況はProgressBookまたはGoogle Classroomで確認できます。ご不明な点がございましたら、メールで教師にお問い合わせください。

全米優等生協会

全米優等生協会（National Honor Society）の目的は、学生の学問への熱意を育み、地域社会への奉仕意欲を刺激し、リーダーシップを育成し、人格を育むことです。候補者となるには、3年生または4年生の学生は、奨学金の最低基準であるGPA3.5を満たす必要があります。候補者資格を取得し、適切な候補者用紙に必要事項を記入した後、学生は教授会によって、優れた人格、リーダーシップ、そして奉仕の精神を体現しているかどうか審査されます。候補者用資料は、資格のある学生に提供されます。候補者用資料の記入に関するサポートセッションも用意されており、受講を強くお勧めします。詳細については、アドバイザーにお問い合わせください。

大学単位プラス

オハイオ州のカレッジ・クレジット・プラス（CCP）プログラムは、大学進学準備が整った7年生から12年生の生徒が、参加する大学や短期大学のコースを受講することで、高校と大学の単位を同時に取得できる制度です。このプログラムは、対象となる生徒の学業の厳しさを促進し、教育機会を拡大することを目的としています。フィンドレー高校では、毎年度、翌年度に向けたCCP説明会を開催します。

資格と入学

学生は、州が定めるCCPの資格要件を満たし、参加大学への入学許可を得てコースを受講する必要があります。入学要件は大学によって異なるため、詳細は各大学にお問い合わせください。CCPへの参加を希望する学生は、前学年度の夏学期／秋学期／春学期の場合は4月1日まで、春学期のみの場合は11月1日までに、フィンドレー高校へ参加の意思を通知する必要があります。

コース。

クレジット変換

CCP コースで取得した単位は、次のように高校の単位に換算されます。

- 3単位以上の大学コース = 1.0 高校カーネギー単位 • 2単位の大学コース = 0.67 高校カーネギー単位
- 1単位の大学コース = 0.33 高校カーネギー単位

費用と経済的責任 CCPコースは、ほとんど

どの場合、学生とそのご家族に費用はかかりません。ただし、以下の状況では、ご家族に費用が発生する場合があります。• 学生が CCPコースに不合格になった場合、または大学が

公表している退学期限後に退学した場合、学生または保護者が関連するすべての費用を負担する場合があります。

- 私立教育機関では追加料金が発生する場合があります。• 学生が年間30単位の上限を超えた場合、学生とそのご家族は、上限を超えた分のCCPコースの履修を負担することになります。これらの上限には高校のコースも含まれます。年間のCCPの上限時間を計算するには、スクールカウンセラーとよく相談ください。

- 大学までの往復の交通手段は学生とその家族の責任となります。

コースの期待と評価

- 生徒はフィンドレー高校の学業面および行動面での期待に従わなければなりません。学校および参加している大学。
- 学生は、コース終了時に必要なEOC試験を完了することが求められる場合があります。卒業要件を満たすため。
- CCP科目の最終成績は、高校と大学の成績証明書に同じ形式で記録され、両方のGPAに反映されます。(例 :不合格となり「F」の成績が付与された科目は、高校と大学の成績証明書の両方に「F」として記載され、「F」の成績は両方のGPAに反映されます。)

CCPの保護観察と解雇

中国共産党の保護観察

以下の場合、学生は CCP 保護観察の対象となります。

- 大学の累計GPAが2.0を下回る。• 1年間に2つ以上の科目を中退または単位を取得できない。学期。

保護観察中の学生は、次の行為を行った。

- 1学期に1つのコースしか登録できません。• 以前登録した科目と同じ科目のコースに登録することはできません。D、F、または単位なしを取得しました。
- 累積GPAが2.0に達するか、より高い。

中国共産党の解任

2学期連続でCCP保護観察処分を受けた場合、生徒はCCPから退学となります。退学処分を受けた生徒は、次の学期の大学の授業を受講することはできませんが、学区に対して退学処分の不服申し立てを行うことができます。

詳細については、生徒と家族は Findlay High School - Counseling & Academics の Web サイト - College Credit Plus タブにアクセスするか、スクール カウンセラーに相談するか、 <https://www.ohiohighered.org/ccp> でオハイオ州の CCP ガイドラインを確認することができます。

進捗状況ブックへのアクセス

保護者の方は、お子様の学習状況と成績をオンラインでご確認いただけます。初回ログインには登録キーが必要です。登録キーは fcs.org の「Families & Students: ProgressBook」から取得できます。保護者アクセスサイトはこちらです。ProgressBook の成績に関するご質問は、担当の先生またはカウンセラーまでお問い合わせください。

スケジュール変更

春には、各生徒が翌年に適したコースを選択できるように支援し、保護者からのフィードバックを反映させるための一連のスケジュール作成活動が行われます。コース計画情報、単位確認ワークシート、コースアドバイス情報、教師とカウンセラーによるカウンセリングの作成に多くの時間が費やされます。この詳細なプロセスのため、スケジュール変更は以下の理由でのみ許可されるため、生徒はスケジュールを慎重に計画する必要があります。クラスへのリクエスト数が空き席数を超過した場合、校長の裁量により、以前の成功の証明、学年、コースの順序、以前に受講したコース、その他の要因など、さまざまな要因に基づいて、それらのリクエストが優先される場合があります。各学期の最初の10日後、または技術クラスの最初の5日後に、生徒はコースを追加できません。生徒が別のクラスを受講できるようにするため、コースが10日間セッションされた後に、生徒がコースを取り消すことは許可されません。その日付後に取り消すと、WD/F になります。適切なスケジュール変更手順に従わなかった場合、コースは不合格となり、単位は失われます。

授業スケジュール変更を希望する学生は、変更前に「Drop/Add」フォームに必要事項を記入し、下記の授業スケジュール変更の条件を少なくとも1つ満たし、必要な署名をすべて取得する必要があります。10日経過後の授業スケジュール変更は、校長の承認が必要です。レベル変更は、第1クォーター終了時に成績表が配布されてから5営業日以内に申請する必要があります。第1クォーター終了後の授業レベル変更は、校長の承認が必要です。承認された場合、学生は変更が通知されるまで現在の授業スケジュールに従う必要があります。特定の教員、昼食時間、または特定の時間帯に開講されるコースの指定は受け付けられません。

学生と保護者は、スケジュールの変更が競技資格、卒業資格、大学の中核、および/または優等卒業証書の取得に影響を与えないようにする責任があります。

スケジュール変更を正当化する理由:

- 学期/クラスの不均衡および/または事務上の誤り。
- 修了したサマースクールコースの代替。
- レベル変更 - 優等生/AP コースから一般高校コースに転校する生徒は、第1四半期末に成績表が配布されてから5営業日以内に、または事務の承認を得て申請する必要があります。

- FHS クラスの代わりに大学クラスを予定する（すべての期限が守られていることが条件。大学のスケジュールのコピーを提供する）。
- 運動競技や課外活動の資格を確保するためのコースの追加。• *その他校長の承認

フルタイム勤務

フルタイムの学生 - 週に最低 20 時間以上出席する予定の学生、および/または学期ごとに最低 2.5 単位を取得する予定の学生。

ジュニア/シニア特権•全学生はフルタ

イムのステータスを維持する必要があります（年間5単位）。卒業に向けて順調に進んでいる必要があります。審査のためにフォームに記入してください。•学生は、承認され、

スケジュールは変更されました。• ジュニア/シニア特権を許可するためだけにスケジュールが変更されることはありません。• 生徒の保護者または管理者は、理由を問わずこの特権を取り消すことができます。

学生退学手続き

1. 生徒または保護者は、退学理由を確認するため、カウンセラーまたは校長と面談するためにメインオフィスに連絡してください。退学費用が発生しないよう、学校関連の資料、書籍、Chromebook、充電器はすべてオフィスに返却してください。
2. 事務職員は、生徒の現在の学業の進捗状況を示す現在の成績画面を作成します。生徒または保護者のリクエスト。
3. 学生が18歳以上で退学する場合は、上記の事項に従うことが推奨されます。手順。

教科書

教科書はすべて公費で学生に支給されます。学生は学期末または年度末までに、貸与されたすべての教科書を通常の使用感のない状態で返却する責任があります。教科書に不注意による損傷が見られる場合は、罰金が科せられます。学生は教科書を受け取ってから3日以内に図書館職員に破損を報告してください。3日を過ぎた場合は、貸出を行った学生が責任を負います。教科書を紛失または盗難された場合は、できるだけ早く代金を支払わなければなりません。代金は新しい教科書の代金となります。学生には2冊目の教科書が支給されます。紛失した教科書が見つかった場合は、代金が返金されます。

ワークブック

一部のコースではワークブックの使用が必須です。ワークブックは再利用できないため、学生は購入する必要があります。コースでワークブックが必要な場合は、担当教員から通知があります。必要な場合は、学校から購入できます。学習に遅れを取らないよう、できるだけ早く入手してください。無料昼食の対象となる学生に課される費用は、州法および連邦法を遵守した場合にのみ課されます。経済的な問題を抱えている学生は、カウンセラーに相談してください。

集会

定期的に集会プログラムが発表されます。よりフォーマルな内容のものは、可能な限り講堂で開催されます。プログラムの性質上、全校生徒に一斉に集まっていただく必要がある場合は、体育館で開催されます。発表者は私たちのゲストであることを常に忘れないでください。礼儀正しく聴衆として接してください。プログラムへの参加を免除される理由がある場合は、校長にご連絡ください。

出席

出席／欠席に関するお知らせ以下の出

席手続きは、対面学習とデジタル学習の両方を含む、あらゆる教育環境における生徒に適用されます。保護者の方は、生徒の欠席を1-844-305-3755の出席管理番号にお電話いただくか、go.schoolmessenger.comにアクセスしてご報告ください。

オハイオ州の法律では、正当な理由がない限り、生徒は毎日時間通りに学校に登校することが求められています。生徒が欠席する場合は、保護者は学校に欠席理由を通知することが法律で義務付けられています。学区では、欠席当日の朝9時までに、出席ホットライン、出席アプリ、または学校事務局へのメール/電話のいずれかの方法で学校に通知して欠席を報告することを保護者に義務付けています。欠席当日の朝に家庭と学校の間で連絡が取れなかった場合、保護者は生徒と学校に戻った直後に欠席の理由を説明するメモを渡す必要があります。そうでない場合、欠席は無断欠席とみなされます。無断欠席した生徒は、担当の校長の裁量により、無断欠席中に受け損ねた課題、テスト、小テストを単位または部分単位として補習することができます。生徒がその他の理由で欠席する予定の場合は、保護者は欠席前に書面で欠席のリクエストを提出する必要があります。生徒はまず出席補助員に欠席届を提出し、その後、担当教員に欠席届を提出して署名をもらいます。最後に、副校長に提出して承認を得てください。欠席期間中に課された課題を完了するために、欠席日数と同数の欠席日数が認められます。

学校は、保護者または後見人もしくは指定の方に欠席のご連絡を差し上げるよう努めます。保護者の方は、州法を遵守するため、自宅の電話番号、勤務先の電話番号、メールアドレス、または指定の方に学校にご連絡いただくことができます。

出席手順

オハイオ州法では、正当な理由がない限り、生徒は毎日時間通りに登校することが求められています。生徒が学校を欠席する場合、保護者は欠席当日に学校に連絡し、欠席を報告してください。生徒が欠席後に登校する場合、欠席中に保護者から欠席届が出されていない限り、欠席届は必要ありません。

長期欠席の場合、保護者は医師の指示を学校に通知する必要があります。欠席の理由を説明する医師の診断書は、医師の指示の初日から3日以内に書面で学校に提出する必要があります。

生徒が医学的な理由で欠席を許可される理由には、1. 生徒自身の病気、2. 生徒の家族の病気により子供の立ち会いが必要な場合、3. 伝染病の隔離、または 4. 緊急事態、または学区長の判断により学校を欠席する十分な理由となるその他の状況（文書化された医療、行動、または歯科の予約による欠席を含むがこれに限定されない）が含まれます。学区は、医師、メンタルヘルス専門家、または歯科医の書面による声明を要求する権利を留保します。

医学的理由以外で学生が出席を免除される理由には、以下のものが含まれますが、これに限定されるものではありません：

1. 教育長が事前に承認した場合、限られた期間、親または法定後見人のために直接かつ排他的に自宅に必要な仕事を遂行する必要がある（14歳以上の学生にのみ適用され、そのような免除のすべての法定義務が満たされている場合）。
2. 家族の死（合理的な理由がない限り、18時間までの授業欠席に適用）
長期の欠席については理由が示される場合があります。
3. 真に信仰する宗教的信念に合致する宗教的祝日の遵守
学生または学生の家族。
4. 理事会が承認した強化活動または課外活動に参加するために州外へ旅行する（最大 24 時間の授業欠席に適用）。
5. 大学訪問。6. 入隊手続き
への入隊前報告。7. 軍人家族の学生が親や法的代理人を訪問するために欠席すること。

戦闘地域または戦闘支援拠点への配備に召集された、休暇中の、または配備から直ちに復帰した制服を着用した現役軍人である保護者または後見人。

8. 児童養護施設への入所または入所の変更による欠席
または里親養育のステータスに関連する裁判手続き。
9. 生徒がホームレスであるための欠席、または、10. 教育長が決定した場合。

正当な理由のない欠席には、書面による説明のない欠席、寝坊、車の故障、バスの乗り遅れ、買い物、美容院の予約、ベビーシッター、無断欠席、家族の用事、狩猟、釣り、その他これらに類する理由が含まれますが、これらに限定されません。6年生の場合、1日の授業時間は6.5時間とみなされます。

th th -12

無断欠席および無断欠席の手続き

- 学校は、児童と保護者に書面で法的通知を送付しなければならない。
子どもが15時間以上無断欠席した場合、保護者は不登校になった場合の責任を通知し、子どもを直ちに学校に通わせる責任があることを通知する（ORC Sec. 3321.19）

- 学校は、21時間以上の欠席がある児童の保護者に通知するものとする。
親/保護者の出席を必要とする無断欠席、および 5 年生から 12 年生までの児童が親教育プログラムに参加すること
(教育プログラムの目的は、児童の学校出席を強制するために親の関与を促すことです)

(ORC Sec. 3321.19)•

学校は、正当な理由なく25時間以上欠席した生徒の保護者に通知することができる。

欠席、書面による、不登校の法的結果

- 正当な理由なく連続30時間以上、1学期42時間以上、1学年72時間以上欠席した場合、児童は常習的不登校とみなされま
す。児童が常習的不登校とみなされた場合、学区は不登校介入計画を実施することができます (ORC Sec. 3321.19
およびSec. 3321.191)。

- 不登校に関する苦情の申し立てと寄付 (ORC Sec. 3321.191 および Sec. 2151.27)

過度の正当な理由による欠席/正当な理由のない欠席の手続き

生徒が1学期に38時間以上、または1学年で65時間以上、医学的理由によらない欠席または正当な理由のない欠席をした場合、出席
管理責任者は、通知義務が発生した欠席日の翌日から7営業日以内に保護者に書面で通知するものとします (ORC Sec.
3321.191)。この基準を満たした場合、生徒は出席監視の対象となります (大学訪問、OSSなどを除く)。

出席監視プログラムは、生徒の出席状況を綿密に監視し、欠席を最小限に抑え、生徒本人とその家族に支援を提供します。生徒
は、欠席後2日以内に、氏名、欠席理由、欠席する日時を明記した、医療従事者、カウンセリング担当者、またはその他の公的機関
(保護者の記録は除く)による欠席理由書を学校に提出する必要があります。

病気の生徒は、学校看護師によって学校を休むことが許可されることもあります。

生徒は、前年度の授業出席記録に基づき、学年度開始時に出席監視の対象となります。また、当該学年度中に、1か月間に38時間以上、
または1学年中に65時間以上、医学的理由または正当な理由のない欠席があった場合、出席監視の対象となります。校長／副校長、
出席管理担当マネージャー、カウンセラーが生徒と面談し、出席状況を改善するための計画を立てます。転校生の出席状況は、
出席監視の対象となった生徒と同じ基準で審査されます。

医療、行動、歯科、裁判所の予約

できる限り、自習時間中に予約をお取りください。必ずしも可能とは限りませんが、ご尽力ください。フィンドレー市の専門家の方々
はこれまで大変協力的で、私たちも彼らに協力いたします。フィンドレー市で予約をされた場合は、予約時間の45分前に学校を
退校していただき、予約時間の45分後には学校に戻っていただく必要があります。予約をされる際は、必要な時間に退校していただ
くよう保護者の方から書面で依頼する旨をお伝えください。朝、担当の出席補助員または事務員に依頼書を提示し、予約時間に退校する
ための許可証を受け取ってください。生徒は学校に戻った際にも必ず署名してください。予約時間が午前9時以前の場合、生徒
は予約時間前に学校に登校する必要はありません。

授業中に病気になった生徒 生徒が授業中に病気になった場合は、スクールナースま

たは担当の校長に報告してください。 生徒が病気のために帰宅する必要がある場合、ナースは生徒の緊急医療フォームで指定された親/保護者または他の人から生徒の退校許可を得なければなりません。 生徒が昼食のために家に帰り、病気のために戻らない場合は、親は同日中に出席補助員 (425-8228) に電話し、学校に戻ったときに書面による理由を適切な出席補助員に提示しなければなりません。 出席手順に従わない場合、学校での措置につながる可能性があります。 病気のために昼食から戻らないというパターンが見られるようになった生徒は、出席監視対象になることがあります。

欠席中の宿題の申請欠席する生徒の課題を準備する時間を

十分に確保するため、3日以上長期欠席が予想される生徒については、保護者の方に宿題の申請をお願いすることができます。宿題を申請するには、必ず校長秘書に連絡し、生徒のロッカーにある宿題や教科書の受け取りを手配してください。教師との連絡は必須です。

遅刻ポリシー

ベルが鳴ったときに生徒が席に着いていない場合、その生徒は学校に遅刻したとみなされます。

1時間目に遅刻した生徒は、授業開始前に出席管理事務所に報告し、許可証を受け取ってください。度を越した遅刻は、管理職の懲戒処分の対象となる場合があります。

大学キャンパス訪問、軍事訓練、職業体験

学生は入学事務局に手紙または電話で連絡し、訪問の予約をする必要があります。大学によっては学生向けの特別プログラムやツアーを開催しているところもあれば、いつでも訪問できるところもあるため、少なくとも1週間前までに申請してください。学生は訪問を証明する公式文書を提出する必要があります。訪問期間は合計4日間です。

これらは3年生と4年生の期間のみ受講できます。このプロセスにはキャリア・ジョブシャドウイングが含まれる場合があります、大学訪問と同様のプロセスが適用されます。事前に手配し、すべての出席手順に従ってください。また、訪問完了を証明する書類を配属先から入手してください。

家族旅行に関する規則学校が休みの期間に家

族旅行を計画していただくよう、保護者の皆様に強くお願いしております。フィンドレー高校では、他に選択肢がない場合、休暇に関する一貫した対応を確保するため、以下の規則を定めております。

- 学生は、保護者からの書面による申請を適切な機関に提出することが求められます。
出席補助員は、休暇前に担当校長に提出し、承認を得るために欠席許可申請書（青色の用紙）を取得する必要があります。•この欠席許可申請書（青色の用紙）は、各クラスに提出する必要があります。

生徒の先生。

- 学生は、すべての課題をクリアするために誠実な努力をしなければなりません。
事前に提出し、通常授業に戻った際に記入してください。記入済みの青い用紙は、欠席許可を得るために出席補助員に提出してください。

宗教的表現の日幼稚園から高校3

年生までの生徒は、信仰、宗教的もしくは精神的信念体系を理由に休暇を取得する場合、または宗教宗派、教会、その他の宗教的もしくは精神的団体の後援の下で行われる活動に参加する場合、学年あたり最大3日間の宗教的表現の日を免除されます。本方針および州法のすべての要件に従い、このような理由で欠席した生徒には学業上のペナルティは課されません。承認された宗教的表現の日に生徒が欠席した時間数は、オハイオ州改正法典3321.191(C)(1)に基づく保護者への通知を目的とした欠席時間の計算には考慮されません。

宗教的表現の日を欠席した場合、生徒には、以下の手順に従って、試験やその他の学業上の要件に関して代替の配慮が提供されます。

1. 保護者は、代替宿泊施設を希望する特定の日付を、学年開始後 14 日以内、または学年開始後に学区に転校または入学する場合に入学期日から 14 日以内に、最大 3 日付で書面で学校長に通知する必要があります。
2. 校長は、生徒の宗教的または精神的信念体系の真摯さを問うことなく、申請を承認します。校長は、申請書に署名のある保護者に連絡を取り、申請内容を確認する場合があります。保護者が署名に異議を唱える場合、申請は却下されることがあります。
3. 承認された欠席が矛盾を生じる場合、校長は適切な教室の教師が代替試験やその他の試験の日時を設定する当初予定されていた日時より前または後になる可能性のある学業上の要件。

生徒は、承認された宗教的表現日のために欠席した日に、学校間活動またはその他の課外活動に参加することが許可されます。

以下は、オハイオ州教育労働省がまとめた主要な宗教的祝日の一覧です（ただし、一部を網羅したものではありません）。この一覧は網羅的なものではなく、学生の信仰、宗教的、または精神的信念体系における祝日や祝祭日が一覧に記載されていない場合、学生の配慮を求める申請を拒否するものではありません。

ロシユ・ハシヤナ

イード・アル＝フィトル

ヨム・キプール

ペサハ（過越祭）

ディワリ

聖金曜日

ハヌカ

イースター

ラマダン

イード・アル＝アドハー

灰の水曜日

化学健康政策

フィンドレー市立学校では、化学物質による健康に関する方針は、学生に対する薬物乱用に関する総合的な教育（健康カリキュラム、カウンセリング サービス、レッド リボン ウィークなど）の一部であり、課外活動の規則と資格に関する方針 IGDJA、IGDJA-R、および IGDJA-E によって補完されるものであると考えています。

この方針はまた、今日の多くの特有の課題に対処する学生と保護者を支援する学生プログラムに対する教育委員会の支援を改めて強調しています。

学校の生徒によるアルコールや違法薬物の使用が見られたり、その疑いがあることは深刻な問題であることを認識し、薬物のない学校を実現するための積極的な取り組みとして抑止プログラムを導入します。

同様に、薬物を使用する生徒は、自分自身の安全だけでなく、他の生徒の安全も脅かします。このプログラムの目的は4つあります。

1. 全生徒の安全を確保する。
2. 生徒が違法薬物の使用を拒否する正当な理由を与えることで、同調圧力の影響を弱める。
3. 薬物を使用する生徒に薬物治療プログラムへの参加を奨励する。
4. 薬物やアルコールの使用が脳の学習中枢に及ぼす影響を防ぎ、生徒がフィンドレー市立学校の在学中に学業上の潜在能力を最大限に発揮できるようにする。

そのため、生徒が学区に転入する各シーズン、活動、または学年度中、運動競技、課外活動への参加、および/または駐車許可証の購入を希望するすべての生徒は、違法薬物または禁止薬物の検査を受ける必要があります。対象となる生徒は、学年度中いつでも無作為に検査を受けるか、または疑いがある場合に検査を受ける場合があります。薬物検査を拒否する生徒は、フィンドレー市学区の運動競技関連の課外活動、運動競技以外の課外活動への参加、または駐車許可証の購入を許可されない場合があります。

キャリア。

完全な化学物質健康ポリシー IGDJA については BoardDocs にアクセスしてください。完全な化学物質健康手順については IGDJA-R および IGDJA-E を参照してください。

カウンセリングサービス

高校のカウンセラーが提供するサービスは次のとおりです。

- 学業、キャリア、社会情緒面の懸念に関する情報。
- 生徒の能力、成果、興味を把握するため
- の生徒評価。
- グループカウンセリングでは、グループディスカッションを通じて情報を共有します。
- 生徒のリクエストまたは紹介に応じて、個人カウンセリングとグループカウンセリングが利用できます。
- 学校職員、保護者、教師、管理者との相談サービス。
- 保護者面談では、家庭と学校の協力の機会が提供されます。
- 地域社会のリソースの調整。
- 就職斡旋サービスでは、生徒の教育または就職の移行を支援します。

生徒と保護者は、Findlay City Schools が指定する要件だけでなく、高校卒業後の組織の要件も認識し、それを満たす責任を負わなければなりません。

自殺介入手順

生徒が自傷行為に深刻な危険を及ぼす場合、スクールカウンセラーは適切な精神科医療機関を紹介します。この介入は、校長と保護者に通知されます。保護者が適切な精神科医療機関の勧告に異議を唱える場合、校長は適切な公的機関または民間機関に連絡することができます。評価を要請された場合、お子様の復学許可を得ることは、ご家族の責任となります。

988 ライフライン

精神的な問題、精神的苦痛、アルコールや薬物使用の懸念、あるいはただ誰かに話を聞いてほしい場合は、988 に電話してください。カウンセラーが対応いたします。あなたは一人ではありません。

デートと性暴力の防止

オハイオ州の法律では、学校は7年生から12年生までの生徒の健康教育の中で、発達段階に応じて適切なデート暴力および性的暴力防止教育を行うことが義務付けられています。指導には、デート暴力の警告サインや健全な関係の特徴を認識することが含まれなければなりません。

18 歳未満の生徒の親または法定後見人が、その生徒の学校の校長に対し、その学校で使用されているデートや性暴力防止の指導資料の閲覧を求める書面による要請を提出した場合、校長は要請後 48 時間以内に、親または後見人がその学校でその資料を閲覧することを許可するものとする。

生徒の親または保護者の書面による要請があった場合、生徒は性的暴力防止に関する指導の受講を免除されるものとする。

ダンス&ブロム

FHSの生徒は、締め切りまでに「ゲスト許可申請書」を提出すれば、ホームカミングやブロムにゲストを連れてくることができます。生徒は学費を滞りなく納めているか、担当校長に連絡して手続きを済ませている必要があります。担当校長の承認がない限り、ゲストは全員、生年月日が記載された写真付き身分証明書を持参する必要があります。8年生以下の生徒はFHSのダンスパーティーやブロムに参加できません。ゲストは20歳未満である必要があります。FHSの生徒は全員、入場時に学生証を持参する必要があります。学校側はゲストの入場を拒否する権利を有します。

ホームカミング、ブロムコート、その他生徒会主催のダンスイベントは、生徒会補助部（Auxiliary）の活動の一環として位置づけられます。そのため、コート（ホームカミングとブロムを除く）への参加資格を得るには、補助部員と同じ資格要件（課外活動規則および化学健康に関する方針を含む）を満たす必要があります。IGDJAおよびIGDJA-R FCS理事会の方針をご覧ください。

ディレクトリ情報と学生記録

学区は、生徒の教育記録に含まれる以下の個人情報を「ディレクトリ情報」として指定しています。1. 生徒の名前

2. 公認の活動やスポーツへの参加 3. 生徒の功績に対する賞や栄誉 4. 卒業年月日 上記の情報は、営利目的の計画や活動の要請の場合、または保護

者/対象となる生徒が各学年

の 10 月 1 日までに学校に書面で、事前の書面による同意なしに当該情報の一部または全部を学校が公開しないよう通知した場合、または開示が法律で禁止されている場合を除き、事前の書面による同意なしに開示されます。

募金活動と販売募金活動を含むすべて

の募金活動は、学校が承認したクラブ／活動と連携し、FCS募金活動承認プロセスを経る必要があります。学生は、FCS募金活動承認プロセスで指定された期間内に、上記のとおり事前に承認された商品のみを販売できます。

ホールパス

生徒が教室を離れる必要がある場合、教師は既存のパスプログラムを利用して正式なパスを発行します。生徒は教室を離れる前にパスを取得する責任があります。

許可証を持たずに退室しないでください。許可証は絶対に必要な場合にのみ発行されます。正式な許可証を持たずに廊下に留まっている学生は懲戒処分の対象となります。

保健サービススクールナー

スは週5日、保健室に常駐しています。授業中に病気や怪我をした場合は、保健室または担当の校長に報告してください。ナースコールを受けるには、担任の先生から許可証を取得してください。緊急の場合を除き、授業と授業の間にナースコールを受けることはできません。生徒が帰宅する必要がある場合は、ナースコールまたは事務室から保護者に連絡します。病気のため帰宅する場合は、保護者の許可を得るために、ナースコールまたは校長室から自宅に電話をかけてください。

悪天候

悪天候の場合、学校の遅刻や休校に関する情報は、学区の通信システムを通じて発信され、学区のウェブサイトやソーシャルメディアページに掲載され、地元のテレビ局やラジオ局でも共有されます。天候上の緊急事態により、日中に学校を休校にせざるを得ない場合もあります。その場合は、学区の通信システムを通じて保護者の皆様にご連絡いたします。

緊急時に親や大人が家にいない場合に子供が行ける場所を確保できるよう、親は近所の人や友人と手配しておくことが推奨されます。

図書館ガイドライン

図書館は毎日、学校の前の午前 7 時から放課後の午後 3 時 30 分まで開館しています。

自習室 :自習室利用時間中に図書館を利用する学生は、図書館入口で学生証を提示して受付をしてください。遅刻のベルが鳴る前に、図書館に直接お越しください。学生証の提示が必要です。学生ハンドブックに記載されている自習室のルールもすべて適用されます。図書館の自習室のスケジュールは入口に掲示されています。

資料 :学生は学期中2週間、図書を借りることができます。必要に応じて、より長期間の貸出期間を更新することもできます。電子書籍とデータベースはINFOhio.orgからご利用いただけます。紛失または破損した資料については、再発行費用が学生のアカウントに請求されます。

ロッカー

各生徒には、書籍や備品を保管するための個人用ロッカーが支給されます。生徒は各自の責任において、ロッカーを常に施錠してください。学校は紛失・盗難品について一切責任を負いません。生徒のロッカーは学区の所有物であり、無作為な搜索は薬物などの犯罪行為の減少に効果があるため、管理者または指定職員は、必要と判断した場合、ロッカーとその中身を搜索することがあります。ロッカーの番号はすべて秘密にしてください。ロッカーに問題がある場合は、本部に報告してください。生徒は盗難防止のため、学校のロッカーと体育館のロッカーに必ず施錠してください。

昼食／カフェテリアの利用についてフィンド

レー高校は、生徒が栄養価の高い食事を摂取できるよう、多様な選択肢を提供し、安全で快適な食環境を提供することを最優先に考えています。フィンドレー高校では、毎日カフェテリア形式の昼食を基本に運営し、一定のPBIS基準を満たす生徒にはオープンランチの機会を提供します。PBIS基準を満たす生徒には、色分けされたIDバッジが付与されます。生徒は昼食時間中に校舎を出る際にバッジを提示する必要がありますが、時間通りに戻るのは生徒の責任です。度重なる遅刻は、利用資格の喪失につながります。

学生は指定されたドアからのみ出入りできます。昼食時間中は、キャンパス外への車の持ち出しは禁止されています。また、昼食時間中は車内や駐車場内での立ち入りも禁止されています。適切な手順に従わない場合、オープンランチの参加資格が取り消される場合があります。オープンランチの参加資格は、各クォーター末に決定されます。

オープンランチの基準 :•不合格

なし•停学なし (ISAまたは
OSS)•出席監視なし

*オープンランチのインセンティブの基準は前学期に基づいています。停学処分を受けた場合、または生徒が出席監視の対象になるほどの欠席回数を重ねた場合、オープンランチは

取り消されました。

基準を満たしているにもかかわらず、生徒が昼食居残りを指定された場合は、居残りが指定された日に昼食を無料で利用することは許可されません。

建物内に留まることを選択した学生は、カフェテリアまたはその他の指定された場所で昼食を食べなければなりません。生徒は自宅からランチを持参するか、カフェテリアで購入することができます。カフェテリアでの食事は、指定されたランチタイムのみ可能です。複数の配膳ラインがあります。毎日、フルトレイランチが提供されます。デリサンドイッチ、様々なサラダ、ラップサンド、その他のメインディッシュに加え、アラカルトメニューもご用意しています。

フードデリバリー（Doordash、Uber Eatsなど）は、生徒の昼食時間のみ許可されます。すべてのフードデリバリーは、運動場入口の玄関ホールに置いてください。学校は、デリバリーサービスによって残された食品について一切責任を負いません。

食後は生徒の責任でテーブルを片付けてください。ゲームやカードゲームは昼食時間のみ、カフェテリアまたはホールでのみ許可されています。賭博行為は禁止されています。

無料/割引ランチ

経済的な問題により学校給食の購入が困難な場合は、生徒はカウンセラーに相談し、無料または割引の給食を申請する必要があります。連邦規則により、すべての学校は無料または割引の給食の申請者の収入を確認することが義務付けられています。

保護者の方は、給食室が申請を承認するまで、お子様に昼食代を支払わせるか、昼食を持参させる必要があります。申請書は、fcs.orgのホームページにリンクされているPaySchools Centralのウェブサイトから入手できます。

「スマートスナック」基準

2010年に制定された「健康で飢えない子どもたちのための法律」は、USDA（米国農務省）に対し、学校内で生徒に販売されるすべての食品と飲料（学校の募金活動で販売される食品を含む）の栄養基準を定めるよう指示しました。この新しい「学校でのスマートスナック」栄養基準は、全粒穀物、果物、野菜、低脂肪タンパク質、低脂肪乳製品など、私たちが推奨すべき食品と飲料をより多く生徒に提供し、糖分、脂肪分、塩分を過剰に含む食品を制限することで、学校が健康的な選択を容易に行えるように支援します。

スマートスナック基準の適用範囲 :スマートスナック基準

は、授業時間中、つまり授業終了前日の深夜から授業終了30分後までに適用されます。授業時間中に学校でこのようなプログラムを実施する場合、または授業終了30分以内に放課後のスナックまたは食事を提供する場合、その時間帯に生徒に販売できるその他の食品は、スマートスナックの要件に準拠する必要があります。

薬

学校は、法令により許可されている場合を除き、いかなる種類の薬剤、錠剤、薬物も持ち込むことはできません。これには市販薬や処方薬も含まれます。薬は自宅で服用してください。授業中に薬を服用する必要がある場合は、医師と保護者が記入・署名してください。

投薬フォームと薬は、ラベルの貼られた元の容器に入れてクリニックに持参する必要があります。

学校における投薬に関する教育委員会の方針は州法に準拠しています。生徒は最新の緊急医療フォームを学校看護師に提出する必要があります。

駐車場、交通機関、校外学習

バス政策

生徒輸送方針の目的は、生徒と保護者の皆様に安全で信頼性が高く、効率的なプログラムを提供することです。このようなプログラムの運営には規則が不可欠です。以下の規則を含むこれらの規則に違反した場合、懲戒処分の対象となる場合があります。

バス

バスに乗ることは、スクールバスに乗って学校まで行く資格のある人に与えられる特権です。

バスで学校に到着した生徒は、到着時刻から下校後にバスが発車するまで、校庭から出ることはできません。スクールバス内の行動に関するルールについては、運転手から生徒に説明があります。学区の車両で生徒を送迎する際は、すべての学校の規則と手順が適用されます。バスの安全に関するルールは、フィンドレー市のすべてのスクールバスに掲示されています。

以下の規則は、学区が管理する交通機関における生徒の行動に関するもので、生徒、運転手、および道路上の他の運転手の安全と福祉を確保し、学校車両の安全と適切なメンテナンスを確保することを目的としています。

生徒は以下のことを行います。

1. バス停に近づくときは注意し、対向車に向かって左側を歩き、高速道路を横断する前に両方向の道路が空いていることを確認し、交通量の多い場所で待機してください。
2. バスが時刻表通りに運行できるよう、バスの到着予定時刻より前にバス停に到着してください。3. バス停では、交通の無い場所で待機し、バスの運行を妨げるような行動は控えてください。
個人の生命、身体または財産を脅かすもの
4. 指定された座席に座る（運転手は生徒に座席を割り当てる権利がある）5. 他の生徒を邪魔したり混雑させたりすることなく、指定された座席に直接移動し、
車両が走行している間は着席したままでいること。
6. 教室での行動、または管理者や輸送担当者によって定められたバスでの行動を遵守し、運転手の指示に迅速かつ丁寧に従います。
7. 車内を清潔に保ち、つまずきやすいものを置かないでください。8. 医療上の理由で必要な場合、または適切な付き添い人、学校管理者、または学校職員の監督下で地区が通常以外の移動として許可した場合を除き、バス内での飲食は控えてください。9. 汚い言葉の使用、大声での会話、笑いは控えてください（必要な混乱は運転手の注意をそらし、重大な事故につながる可能性があります）。
10. 座席に座り、通路や出口を空け、頭、腕、手を常に車内に保ち、車内や車外に物を投げたり渡したりしないでください。
11. 他の生徒や運転手に対して礼儀正しく接してください。

12. 備品は自宅の大切な家具と同じように扱ってください（学校車両を損傷することは固く禁じられています）。13. 学生に処方薬が必要な場合を除き、車内でのニコチン製
品の使用やアルコールや薬物の所持は控えてください。14. 膝の上に載せられるもの、または州法に従って車内に保管できるもののみ車内に持ち込んでください。

生徒は車両が停止するまで座席に留まり、速やかに降車し、車両が出発するまで指定された安全な場所で待機してください。寮側へ向かうために道路を横断しなければならない生徒は、運転手の合図を待ち、自身も交通状況を確認した上で車両の前を横断してください。

学生がこれらの規則に従わない場合は、学区が管理する交通機関を利用する権利を失う可能性があります。

懲戒処分理事

会は、学区長またはその他の管理者に対し、最長1学年まで生徒のバス利用を停学する権限を与えます。必要な手続きは、停学処分を予定している旨を生徒に通知し、停学処分が行われる前に管理者に面会する機会を与えることのみです。管理者の決定は最終的なものです。

個々の生徒に規律上の問題が生じた場合は、次のガイドラインに従ってください。

1. 可能であれば、ドライバーが問題を解決する必要があります。
2. 運転手が問題を解決できない場合は、
輸送管理者。輸送管理者と運転手は、必要に応じて校長と協議する。懲戒処分は校長が行う。
3. 上記の対策で解決できない問題は、
監督。

障害のある学生の交通機関の利用を停止する場合は、これらの手順の変更が必要になる場合があり、適用されるすべての法定要件に準拠します。

校外学習のバスルール

一般的に、バスは生徒が参加する学校主催の活動への送迎に使用されます。これらのバスは教職員の監督下で運行されます。この要件には例外があり、校長の明確な承認を得た上で、生徒の保護者がアドバイザーおよび担当校長に事前に書面で申請した場合に限ります。

これは例外的な場合にのみ許可されるべきです。運動部、音楽部、またはミルストリーム・キャリアセンター以外の団体が臨時旅行を主催する場合、生徒は旅行前に保護者が記入した許可書を団体のアドバイザーに提出する必要があります。生徒が授業の一部を欠席する場合は、学校関連の欠席に関するガイドラインに従ってください。

運転／駐車下記は、

すべての教習生ドライバーが遵守する必要があるガイドラインです。駐車許可証を発行する前に、すべての教習生ドライバーとその保護者は駐車契約書に署名する必要があります。

キャンパス内での駐車は特権です。フィンドレー高校の駐車許可証の購入を希望するすべての生徒は、インフォームド・コンセント契約に署名し、ランダムな薬物検査および／または合理的な疑いがある場合の薬物検査への参加が求められます。薬物検査への参加を拒否する生徒は、フィンドレー高校の駐車許可証の購入およびキャンパス内での駐車が許可されません。登録されていない車両は、支払いシステムの運用開始から2週間後に駐車違反切符が発行される場合があります。

駐車規則

1. 校内に駐車するすべての車両は、学校に登録され、最新のナンバープレートが車両の前面に掲示または掛ける必要があります。ナンバープレートが正しく掲示されていない場合、駐車許可を取り消す場合があります。
2. 学生は1枚の許可証で複数の車両に登録できます。駐車許可証を購入するために駐車係員にお越しいただく前に、最終フォームの以下の3つのタブにご記入ください：駐車許可証申請書、緊急医療許可証、およびインフォームド・コンセント契約書。
3. 登録料35ドルは、現金または小切手で正確な金額をお支払いください。
オンラインでのお支払いも可能です。お支払い情報は、開校後数週間以内にご案内いたします。（1月1日以降は18ドル、第4四半期は9ドルに値下げされます。）
4. 駐車規制が施行されています。校内に駐車することは特権とみなされます。
駐車違反があった場合、駐車許可の停止、ナンバープレートの取り消し、車両の牽引、拘束ブーツの使用、その他の懲戒処分を受ける場合があります。
5. 駐車は常時、Findlay 高校裏の学生用駐車場のみに制限されます。
指定された教職員用、来客用、または障害者用エリアに駐車する学生は、罰金が科せられたり、牽引される可能性があります。
ミルストリーム、管理事務所、またはエルマー・グラハム・スタジアム付近に駐車されている車両も含まれます。学生用駐車場はすべて小川の向こう側（北側）にあります。
6. 校外への運転 - 学生は、昼休み時間中に校外へ車を運転することはできません。また、昼休み時間中に車内や駐車場に長時間留まることも禁止されています。
7. 未払いの違反切符は、FHS敷地内の駐車許可を取り消す場合があります。罰金/料金は次のように：
a. 不適切な駐車/表示 \$5.00 b. 年間料金割引
\$18.00 (1月1日以降) および \$9.00 (第4四半期) c. 制限区域内駐車 \$15.00 d. 登録漏れ
\$35.00
8. フィンドレー高校は私有のレッカー移動区域です。駐車は許可証が必要で、登録タグが必要です。通常の授業時間中は、違反者は所有者の負担でレッカー移動される場合があります。
9. 車両は、オハイオ州フィンドレー、アレンTR142、4404のディックス・トーイングで回収できます。
所有権の証明、および牽引および保管費用の支払い。牽引はオハイオ州改正法典4513.60に基づいて行われます。
10. 生徒は全員、運転免許証と保険に加入している必要があります。学校は車両およびその内容物について一切責任を負いません。新入生は、授業時間中に学校敷地内に駐車することはできません。
11. 到着後、車両は1台につき1台ずつ適切に駐車してください。駐車は車寄せ駐車のみ許可されます。バック駐車や車寄せ駐車は不適切駐車として違反となります。
12. 駐車場での速度は時速15マイル（約24km）を超えてはなりません。無謀運転および／または無責任運転は駐車許可の取り消しの理由となります（無責任運転には、一時停止標識違反、タイヤのきしみ音、横断歩道での譲り合いの怠り、速度超過などが含まれますが、これらに限定されません）。生徒は、学校敷地内において、故意または無謀な運転によって他人の安全、健康、または福祉を危険にさらすような運転をしてはなりません。

13. 特権が取り消された後にキャンパス内に駐車する学生は、追加の懲戒処分を受ける可能性があります。

14. 喫煙違反を含む、学生ハンドブックのすべての規則が駐車場に適用されます。

生徒は駐車場であむろしたり、校内に駐車している間は車内で座り込んだりしてはなりません。学区長は、麻薬や爆発物の存在を察知する訓練を受けた犬の出動を許可する場合があります。犬は、ロッカーや駐車場を含む校内施設および校内の巡回に使用することができます。犬の出動は予告なく、無作為に行うことができます。

訓練された犬が特定の車両、ロッカー、またはその他のコンテナに警告を発した場合、その犬は、本ポリシーに従ってその車両、ロッカー、またはコンテナを搜索するための合理的な疑いを生じさせるものとします。

15. 理事会の方針と手順に従って、学生の車両を検査する場合があります。15.

契約書を偽造したり、他人に許可証の使用を許可したり、タグを紛失または盗難されたと偽ったり、自分に登録されていないタグを表示したりすると、駐車許可証の取り消し、罰金、および/または追加の懲戒処分の対象となります。

16. 許可証を持っていて、登録されていない代替車両を運転する必要がある学生は、現在のタグをその新しい車両に移動し、新しい車両を最終フォーム登録に追加してください。

17. 学年度中に生徒が車両を変更する場合は、新しい車両を最終登録フォームに追加し、駐車場係員に報告してください。車両の追加には追加料金はかかりません。いかなる状況においても、許可証なしに車を駐車してはいけません。(16番と18番も参照)

18. 生徒が学校に登録されている別の車両に駐車許可証の切り替えを忘れた場合は、翌朝すぐに本部事務室へお越しいただき、駐車係員にその旨をお知らせください。警備員に連絡できるよう、車のナンバープレート番号、メーカー、車種をお知らせください。

違反切符を受け取った場合、学生は遅くとも翌日までにそれを提出し、無効にしなければなりません。違反を繰り返した場合、違反切符は無効にされない場合があります。

19. 駐車違反切符は、教頭の裁量により減額または無効となる場合があります。教頭による確認をご希望の場合は、24時間以内に本部事務室までご連絡ください。これは、すべての駐車違反切符の判例となります。

20. 管理者は学生の規則に違反した場合、駐車許可を取り消す権利を有する。
ハンドブック

校外学習校外学

習への参加は、責任を伴う特権です。校外学習の数日前に担任の先生と面談し、当日に欠席する課題について計画を立ててください。

宿泊旅行／ホテル宿泊に関する規則学生は、ア

ドバイザーまたは指定された引率者の許可なく、いかなる場合でも異性の学生の部屋に入ることはできません。いかなる理由も認められません。• 学生の部屋はアドバイザーによって割り当てられ、指定された部屋に滞在するための門限が設定されます。部屋の移動は許可されません。門限後は、必要に応じてスタッフまたは引率者を除き、学生の部屋に入ることはできません。

- 学生は部屋からタオルやお土産を持ち帰ることはできません。同室の学生は、紛失した物品や部屋の損傷について、同等の費用を負担することになります。

- 窓から何かを投げたり落としたりすることは禁止されています。• 部屋の騒音レベルは、部屋から廊下や隣の部屋まで及ばないようにしてください。

部屋。

- アドバイザーと付き添い者は常時待機してください。適切な監督が行われます。

提供されます。

部屋は常に施錠してください。部屋に注文したものは、その部屋に割り当てられた学生が支払わなければなりません。

門限後は部屋に何も届けないでください。

- 生徒は、監督官の特別な許可を得ずに監督区域から出てはいけません。

アドバイザーまたは付き添い者。

- 生徒自身または他の生徒への差し迫った危害を防止するために合理的に必要と思われる場合、または規則違反の合理的な疑いがある場合、生徒は尋問を受けたり、所持品を搜索されたりすることがあります。いかなる搜索も非公開で行われます。

- アドバイザーはいつでも、保護者の費用負担で生徒を帰宅させることができます。

永久パス

この許可証は、生徒が通常自習室にいる時間帯に、特定の時間に生徒に課外活動を行わせることを希望する教師によって申請されます。許可証が事務室で処理されるまで、生徒は予定されている自習室に出席する必要があります。

個人財産

フィンドレー市立学校は、学校敷地内に持ち込まれた楽器や運動用具などの個人所有物については責任を負いません。

学校出版物

新聞「ブルー＆ゴールド」は定期的に発行されています。各号には、学校、その活動、生徒、教職員に関する興味深く重要な情報が掲載されています。生徒は無料で入手できます。「トロイアン」は学校の年鑑で、年に1回発行されます。全生徒や生徒会の写真、そしてそれらに関する情報が掲載されることがあります。年鑑の購入には料金がかかります。

学校安全訓練

火災訓練、竜巻訓練、封鎖訓練など、学校安全訓練のアナウンスが行われた際は、すべての生徒、職員、来訪者、その他校舎内にいる方は、学校関係者の指示に従ってください。生徒は指定された場所に迅速かつ静かに、秩序正しく避難してください。これらのガイドラインに違反した生徒は懲戒処分を受ける場合があります。

学校の安全

学校の安全は私たちにとって非常に重要です。フィンドレー高校の生徒全員の安全を守るために、皆様のご協力が必要です。生徒の皆様は、ドアを開けたままにしたり、ドアを開けたままにしたり、ドアの中に物を置いたりしてドアのロックをバイパスしたりしないでください。また、施錠されたドアを開けて他の生徒が校舎に入ることも禁止されています。生徒と来訪者は、セキュリティで保護されたドアからのみ入ることができます。ドアを開けたままにしたり、ドアを開けたままにしたり、ドアの中に物を置いたりしてドアのロックをバイパスしたり、他の生徒が校舎に入ることを許可したりする生徒は、校舎のセキュリティ担当者によって特定され、懲戒処分を受けます。

標識掲示ポリシー掲示前に、学生生活

動担当校長または活動ディレクターが各ポスターの右下隅に承認の署名をしなければなりません。

- すべての標識やポスターは、読みやすく、品位のあるものでなければなりません。品位の判断は学校管理者の責任となります。• 今後のイベントを宣伝するすべてのポスターは、開館後2週間以内にホールに掲示してください。イベント前に掲示し、イベント終了後は速やかに撤去する必要があります。
- ガラスや壁の塗装部分には、看板やポスターを貼らないでください。看板やポスターは、可能な限りタックストリップに掛けてください。• 看板は必ずマスキングテープで貼り付けてください。セロハンテープは使用しないでください。また、吊り下げたり、照明器具に取り付けたりしないでください。
- フィンドレー高校の組織または団体は、特別な許可を得て、指定された場所に看板を掲示することができます。校長の許可なく、商業目的の看板を校内に掲示することはできません。• 看板の汚損または破壊は禁止されており、生徒は懲戒処分の対象となります。

建物への入退館

安全のため、生徒は登校時および登校時間中は校内に留まることが求められます。通常の授業時間中に高校／ミルストリーム校舎を離れる際は必ず退校届を提出し、登校時には必ず担当の通学介助者とともに登校届を提出してください（校外学習を除く）。登校または退校届を提出しない場合は、懲戒処分を受ける場合があります。保護者の方は、予定のための退校について事務職員と必ず連絡を取り、確認を行ってください。

学生写真とIDカード

生徒は全員、現学年の写真付き学生証を所持する必要があります。授業中は必ずIDバッジを携帯してください。生徒は登校時、図書館やコンピューターラボへの入場時、およびすべてのスクールダンス/チケットにおいて、学校職員にIDを提示しなければなりません。IDバッジを紛失した場合は、5ドル（現金）で再購入する必要があります。生徒の写真は、事務室の記録、IDカード、およびトロイの年鑑に必要です。学校のプレスリリース、学校出版物、および学校ウェブサイトを使用するために、写真家や地元/学校新聞社が生徒の写真を撮影する場合があります。また、教師が大学/大学の要件を満たしている状況など、生徒が教室でビデオ撮影されることもあります。お子様の写真と名前の使用に異議がある場合は、10月1日までに書面で学校に通知してください。

自習室1. 学校が支

給する機器は、生徒が自習室で使うことが認められています。ただし、生徒の同意が必要です。

静かに、混乱を起こさないようにしてください。

2. 他の生徒の迷惑にならないよう、生徒はイヤホンを使用してください。電子機器の音量は、生徒がアラームやベルの音を聞き取れる程度に下げてください。
3. 自習時間中はテクノロジーと携帯電話に関するガイドラインが遵守されます。
4. すべてのテクノロジーを学校内の安全な場所に保管するのは生徒の責任です。
5. これらの規則に違反した場合、管理者が適切と判断した懲戒処分の対象となる場合があります。
6. 生徒は自習室に出席することが求められます。遅刻したり自習室を欠席した生徒は学校での処分を受ける。
7. 自習時間中は食べ物の持ち込みは禁止されます。

テクノロジー

コンピュータ技術とネットワークのガイドライン

Findlay High School では、数百人のユーザーがコンピューター リソースを共有しています。ネットワークとワークステーションの整合性を保護するため、Findlay High School のテクノロジー機器を使用する際は、責任ある、倫理的な、そして利他的な行動をとることが求められます。各生徒は、生徒の許容される使用とインターネットの安全性に関するポリシー (EDE および EDE-R) を読み、遵守する責任があります。遵守しない場合は、懲戒処分、および/またはコンピューター権限、アカウントへのアクセス、インターネットの使用のいずれか、もしくはその両方が剥奪される可能性があります。複数の違反は、残りの学期、学年、または高校在学期間中、コンピューターの使用を禁止される可能性があります。違反は、適切な法的機関に通報され、その他の法的措置が取られる場合があります。これらの規則に対する例外は、教師の直接の監督下でのみ許可されます。

1. FHS で 18 歳未満の生徒のコンピュータ ネットワークおよびインターネット アクセスを拒否するには、保護者がメイン オフィスにある「オプトアウト」フォームに記入する必要があります。
2. 生徒は、割り当てられたパスワードを使用してのみ、学区ネットワークやインターネットにアクセスできます。ネットワークアカウント。他人のアカウント／パスワードの使用は禁止されています。学生は、他のユーザーに自分のパスワードの使用を許可してはなりません。
3. 学生は、他の学生に情報を求めたり、入手したりすることを勧めたりしてはならない。他のユーザーに属するファイル、データ、またはパスワードをコピーしたり、変更したり、ネットワーク上で他のユーザーを偽ったりすること。
4. 学生は機密情報をアップロード、ダウンロード、作成、または送信することはできません。
有害なコンポーネントや破損したデータ、または他者の財産を破壊しないでください。破壊行為には、ソフトウェア、ハードウェア、他のユーザーのデータ、その他のネットワークリソースをハッキング、改変、損傷、または破壊しようとする悪意のある試み、またはインターネット上またはネットワーク外のあらゆるものを破壊するためにネットワークを使用することが含まれます。
5. 学生は、ネットワークの運用を低下させたり妨害したりするような、あるいは限られたリソースを浪費するようなコンピュータ活動に従事してはなりません。例えば、トナーやプリンターの用紙を無駄にしたり、「迷惑メール」を送信したりしないでください。
6. 学生は自分のサーバーアカウントに作業内容を保存し保管することが推奨されます。
学校職員が生徒のコンピュータファイルやメッセージを閲覧する可能性があることを理解します。
素材は、品質基準や適切な内容について審査される場合があります。また、ファイルは、嫌がらせや脅迫にあたる内容、あるいは下品な内容やわいせつな内容について審査される場合があります。
7. 学生はコンピュータ機器の識別ラベルを変更したり削除したりしてはなりません。
8. 生徒はネットワーク接続されたソフトウェアや学校提供のソフトウェアを使用することができます。プログラム
コースの課題の一部として学生が作成したレポートは、必要に応じて教師の監督の下で実行される場合があります。
9. 生徒は学校のデスクトップ コンピューターにプログラムをインストールしたり削除したりすることはできません。
生徒は、Findlay City Schools の生徒と保護者向けの 1:1 ハンドブックに従って、学校に適したプログラムを Chromebook にダウンロードしてインストールできます。
10. 学生は、個人的な使用または
他人が使用するために。
11. 生徒と教師の間のすべての電子通信は、
地区に割り当てられたアカウント。
12. 生徒は、学校のコンピュータの使用に関する学校の方針に違反したり、コンピュータが故障したりした場合には、学校の職員に報告するよう求められます。
ともかく。
13. 学生は、法律または学生規律規定によって所有または使用が禁止されている物質を販売するために、学区のコンピュータまたはネットワークを使用することはできません。
14. 学生は、性的に露骨な内容のコンテンツを作成、コピー、閲覧、送信、ダウンロード、アップロード、または求めることはできません。
露骨、わいせつ、ポルノなどの素材、および/または爆発装置を作成するための設計や詳細情報を含む素材、犯罪行為やテロ行為を助長する素材、脅迫的な素材、または法律や学生規律に違反する、または他者に違反を勧めるその他の素材。
15. 学生は著作権で保護されたコンテンツをアップロード、ダウンロード、コピー、再配布、再出版することはできません。
著作権者の明示的な書面による許可なく、資料を複製、転載、複製することはできません。学生は、資料の使用について明示的な許可がない限り、ネットワーク上のすべての資料は著作権法によって保護されているものとみなすべきです。
16. 学生はウェブプロキシを使用して資料、ファイル、コンテンツを閲覧、ダウンロード、検索することはできません。
不快、中傷的、誤解を招く可能性のある情報、ソフトウェア、その他のコンテンツ

著作権を侵害したり、違法なコンテンツや情報を閲覧したり、カリキュラムに関係のないコンテンツや情報にアクセスしたりしないでください。

17. 生徒は、Androidスマートフォン、iPhone、iPodなどの個人用デバイスでプロキシアプリケーションを使用してFHSのインターネットフィルタを回避し、学校が禁止するコンテンツにアクセスすることを禁止されています。このような行為を行った生徒には、「IBOSSアラート - 高リスクアクティビティデバイスロック」というメッセージが送信され、フィンドレー市立学校の無線ネットワークからブロックされます。違反した生徒は、FHSの無線ネットワークに再び接続するために、技術サポートスタッフにデバイス（Androidスマートフォン、iPhone、iPodなど）を登録する必要があります。
18. 学生は不適切な写真やメディア（ポルノ、電子的に、あらゆる種類の危険な、または憎悪に関連するメディアを投稿すること。これには、他の個人（学生または従業員）に対するネットいじめや嫌がらせ、または本人の同意なしに他人に関するあらゆる種類の情報（動画、画像、音声、テキスト、その他のメディアを含むがこれらに限定されない）を投稿または送信することが含まれます。

電子機器（BYOT）

フィンドレー市立学校のテクノロジー計画では、生徒と教職員に21世紀のデジタル学習環境を提供することが盛り込まれています。生徒は、授業時間中に指定された時間に、ノートパソコン、電子書籍リーダー、iPadなどのテクノロジー機器を持参して使用することができます。音声・テキスト通信機器としての携帯電話とスマートフォンは、ハンドブックで別途扱われるカテゴリーです。

これらのデバイスは、教室での学習を促進するために使用されており、各教員の裁量により適切と判断された場合に限り使用が許可されます。生徒は、これらのデバイスが教育目的のみに使用されることをご理解ください。各教員は、生徒の個人用電子機器の教室内での使用を制限または禁止する裁量を有します。

生徒が自分の機器を使用する場合、以下のガイドラインに従う必要があります。これらのガイドラインは、学区が提供する機器を使用する生徒向けの学区の許容使用ガイドラインに加えて、その内容を拡張したものです。1. 生徒が自分の電子機器を使用する場合は、学区が提供する「ゲ

スト」または「生徒」用の無線インターネットアクセスを使用する必要があります。これらの無線ネットワークは、生徒が日中または学校敷地内で不適切な資料にアクセスできないようにフィルタリングされたインターネットアクセスを提供します。

学区は児童インターネット保護法を遵守する必要があるため、3G、4G、5Gなどのアクセスを許可する外部ソースからのインターネット接続は、学校の敷地内では許可されません。

2. 学生は、虐待的、差別的、または中傷的な内容の資料やメディアを作成、公開、提出、または表示してはならない。わいせつ、性的、嫌がらせ、他人の名誉を傷つける、または違法なコンテンツに遭遇した場合は報告してください。
3. 学生は、ビデオや写真の被写体から明示的な許可を得ずに、電子機器のカメラ機能を使用して、他の学生、教職員の音声、ビデオ、または静止画を撮影、録画、または送信することはできません。
4. 学生はトイレやロッカールームで個人の電子機器を使用することはできません。
5. 教室内または学校主催の行事において生徒の個人用電子機器を使用すること。管理者、教員、またはスタッフの裁量によります。
6. 生徒は個人用電子機器を安全に保管する責任があります。学校敷地内での電子機器の紛失、盗難、または破損については、学区は一切責任を負いません。
7. 個人用電子機器の使用は権利ではなく特権です。生徒はいつでも使用を拒否される可能性があります。学校に持ち込む他の個人所有物と同様に、生徒は電子機器を一切持ち込むべきではありません。

学校敷地内に持ち込まれた個人用電子機器のプライバシーは尊重されるべきです。テクノロジーの不適切な使用や乱用、あるいは学生の許容使用規定の違反が疑われる場合、管理職、教職員、および／または職員は学生の電子機器を検査する権利を有します。

8. 学生は、自分の個人用電子機器を使用して、他人のコンピューター プログラム、ファイル、または情報にアクセスしたり、変更したり、ダウンロードしたり、インストールしたりしてはなりません。
9. 学区は、主に学校所有のデバイスに関する技術サポートを提供します。技術サポート BYOT デバイスの場合は、時間の許す限り提供される場合があります。
10. 学区は、個人所有のデバイスのユーザーに、学校の敷地内でそれらのデバイスを充電する機会を提供することはできません。
11. 学生の個人用デバイスが不適切に使用されたために生じる懲戒処分は、学生ハンドブックに規定されているとおり、建物管理者の裁量で対処されます。
12. これらのガイドラインは、違反があった場合、いつでも管理者によって変更される可能性があります。教育現場における規則および混乱。

電話の使用／生徒への連絡

授業中、生徒は電話に出られません。緊急の連絡は事務室職員が受け付け、伝達します。連絡は生徒の保護者の方からのみ受け付けます。保護者への連絡が必要な生徒は事務室の電話を使用することは許可されますが、授業や自習室の退室は認められません。また、電話の使用は授業への遅刻の正当な理由にはなりません。

労働許可証

オハイオ州改正法典第4109章に基づき、14歳から17歳までの未成年の学生は、就労するために労働許可証を取得する必要があります。労働許可証が必要な学生は、メインオフィスで申請書を入手できます。申請書のすべての記入が完了したら、学生は申請書をメインオフィスに持参してください。学生の労働許可証申請は、担当の副校長に提出され、承認されます。承認には最大5営業日かかる場合があります。承認後、申請書はオハイオ州商務省にオンラインで提出され、学生には雇用主に提出するためのコピーが渡されます。労働許可証申請が承認されるには、学生は学校への在籍および出席に関して良好な状態を維持している必要があります。良好な状態を維持できない学生は、許可証が取り消される場合があります。

差別禁止ポリシー

理事会は、学生、職員、求職者、一般市民、そして理事会と取引のある個人を含むすべての個人が尊厳と敬意を持って扱われる環境の実現に尽力します。理事会は、人種、肌の色、国籍、祖先、市民権、宗教、性別（性的指向および性自認を含む）、経済状況、年齢、障がい、兵役経験、または合法的に取得した遺伝情報に基づく差別を禁止します。

理事会は、以下の個人を地区のコンプライアンス責任者として任命します。

- 副学長 - タイトル VI コーディネーター
- 副学長 - Title IX コーディネーター
- 特別教育ディレクター/コーディネーター - セクション504コーディネーター

コンプライアンス担当者は、アメリカ障害者法第 II 条、1964 年公民権法第 VI 条および第 VII 条、1972 年教育改正法第 IX 条、1973 年リハビリテーション法第 504 条、および 1975 年雇用年齢差別禁止法など、適用される連邦および州の法律と規制に準拠するための学区の取り組みを調整する責任を負います。

コンプライアンス担当者は、差別または報復に関するあらゆる問い合わせや苦情に迅速かつ公平に対応する責任を負います。詳細については、取締役会のポリシーACおよびAC-Rを参照してください。

理事会は、タイトルIXコーディネーターの選定を含む、セクハラに関する独自の方針と手順を制定しています。すべてのセクハラに関する報告は、セクハラに関する方針と手順に従って処理されなければなりません。

苦情は下記までご連絡ください。

第6条（人種、肌の色、国籍）	タイトル IX（性別）	セクション504（障害）
クリスタ・クレイツ・ミラー 1100 ブロードアベニュー オハイオ州フィンドレー 45840 419-425-8212	クリスタ・クレイツ・ミラー 1100 ブロードアベニュー オハイオ州フィンドレー 45840 419-425-8212	アンジェラ・ギーザー夫人 1100 Broad Ave. オハイオ州フィンドレー 45840 419-425-8238